

平成30年

# 消防年報

(令和元年刊行)



毎月1日は「市民防災の日」です

直方市消防本部





平成31年4月1日現在

	管轄	組織	車両	職員数
消防本部	直方市	・消防本部 1本部	ポンプ車・水罐車 3台	職員数 60人
	面積 61.76 km <sup>2</sup> 人口 56,645 人 世帯数 27,112 世帯	総務課 3係 予防課 2係 警防課 5係 ・消防署 1署	化学車 1台 はしご車 1台 救助車 1台 救急車 <sup>予備</sup> 4台 その他 5台	消防長 1人 消防署長 1人 課長 3人 隔日勤務者 54人 初任教育出向 1人

平成31年4月1日現在

	管轄	組織	車両	団員数
消防団	直方市	本部 1 (女性団 1)	ポンプ車 16台	団長 1人
	同上	分団 8 各分団 2部制 (計 16部)	広報車 1台 多機能車 1台	副団長 2人 女性団 8人 団員 229人 (正副分団長 16人含む) 計 240人

平成30年中

	火災件数	火災種別	主な火災原因	水利
火災 ・ 水利	10件	建物 9件 林野 0件 車両 1件 その他 0件	放火(疑い含む) 2件 コンロ 1件 電気配線 3件 ローソク・スパーク 2件 その他・不明 2件	消火栓 1242 防火水槽 269 指定水利 43 その他の水利 22 計 1576

平成30年中

	救急件数(搬送人員)	救急種別	救助件数	救助種別
救急 ・ 救助	3,323件 (3,158人)	急病 65.0% 交通事故 5.0% 一般負傷 15.0% 転院搬送 12.8% その他 2.2%	24件	交通事故 4件 水難事故 4件 建物による事故 2件 その他 14件

平成31年4月1日現在

	防火対象物	危険物施設	査察	幼年消防クラブ
予防	2,412施設	製造所 0件 貯蔵所 112件 取扱所 45件 計 157件	危険物 77件 防火対象物 127件	22組織

# は し が き

この年報は、直方市消防本部の現勢及び消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

災害統計については、ホームページ掲載の「平成30年火災・救急・救助統計」をご確認ください。

なお、資料中の数値にあつては、平成30年度(4月～翌年3月)、あるいは平成31年4月1日現在のものです。

令和元年6月  
直方市消防本部

## 目 次

### 直方市の消防

直方市の概況 .....	1
直方市消防本部の沿革 .....	2
直方市消防本部・消防署の組織 .....	9
直方市消防本部事務分掌 .....	10

### 総務編

#### 消防本部

消防本部・消防署の位置及び管轄区域 .....	14
消防庁舎 .....	14
消防力の整備指針による基準と現有 .....	14
消防費予算額 .....	14
人口・世帯数当りの消防費所要額 .....	14
職員数の推移状況 .....	15
職員の配置状況 .....	15
職員の勤続年数 .....	15
職員の年齢 .....	15
平成30年度職員の表彰 .....	15
平成30年度職員の研修 .....	16
平成30年度職員資格等 .....	17
各種資格取得状況 .....	17

#### 消防団

直方市消防団の沿革 .....	18
歴代消防団長 .....	22
直方市消防団幹部名 .....	22
直方市消防団組織図 .....	22
消防団員入団・退団・昇任状況 .....	23
消防団員の数 .....	23
消防団員の年齢 .....	23
平成30年度消防団員の教育・訓練・研修 .....	24
平成30年度消防団員の表彰 .....	24
消防団自動車配置状況 .....	25
消防団協力事業所表示制度 .....	25
直方市消防団応援の店制度 .....	26

## 予防編

### 危険物施設等

危険物数量別施設状況	27
危険物施設の保安監督者選任施設及び予防規程認可施設状況	27
危険物施設の査察状況	27
危険物施設別の許可、完成及び廃止状況	27
危険物規制事務月別処理件数	28
幼年消防クラブ	28

### 防火対象物等

防火対象物の現況	29
建築同意事務処理件数	30
防火管理者を必要とする事業所状況	31
消防用設備等の設置状況	32
中高層建築物の現況	33

## 警防編

消防本部(署)保有車両一覧表	34
現有防災用資機材	35
消防通信指令管制システム構成概念図	36
警戒警備に関する事項	37
罹災届及び罹災証明願処理に関する事項	37
消防水利の現況	37
緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練活動状況	38
訓練に関する事項	39
直方市の救急講習・普通救命講習受講者数	40
心肺停止傷病者に対する応急手当(心臓マッサージ等)実施率	40
救急安心カードの推進及び利用状況	41
救急安心カード原本(表)	42
救急安心カード原本(裏)	43
救急安心カード年別利用件数	44
直方市AED設置施設登録制度推進事業	45
直方市AED設置施設登録事業所	46

## 付録

火災概況	51
火災概要(前年比)	52
救急概況	53
救急出場事故種別概要(前年比)	54
救助概況	55
過去5年間の救助出動件数	56

## 直方市の概況

### ○ 位置

直方市は、福岡県の北部にあって、遠賀川に沿って開ける筑豊平野のほぼ中央に位置しています。

市の東側は福智山系で北九州市小倉南区と接し、西側は鞍手郡鞍手町及び宮若市と境を接しています。また、南側は田川郡福智町、飯塚市及び鞍手郡小竹町と、北側は北九州市八幡西区、鞍手郡鞍手町と境を接し、その広ぼうは、東西11.56km、南北9.45km、面積61.76km<sup>2</sup>となっています。

### ○ 地勢

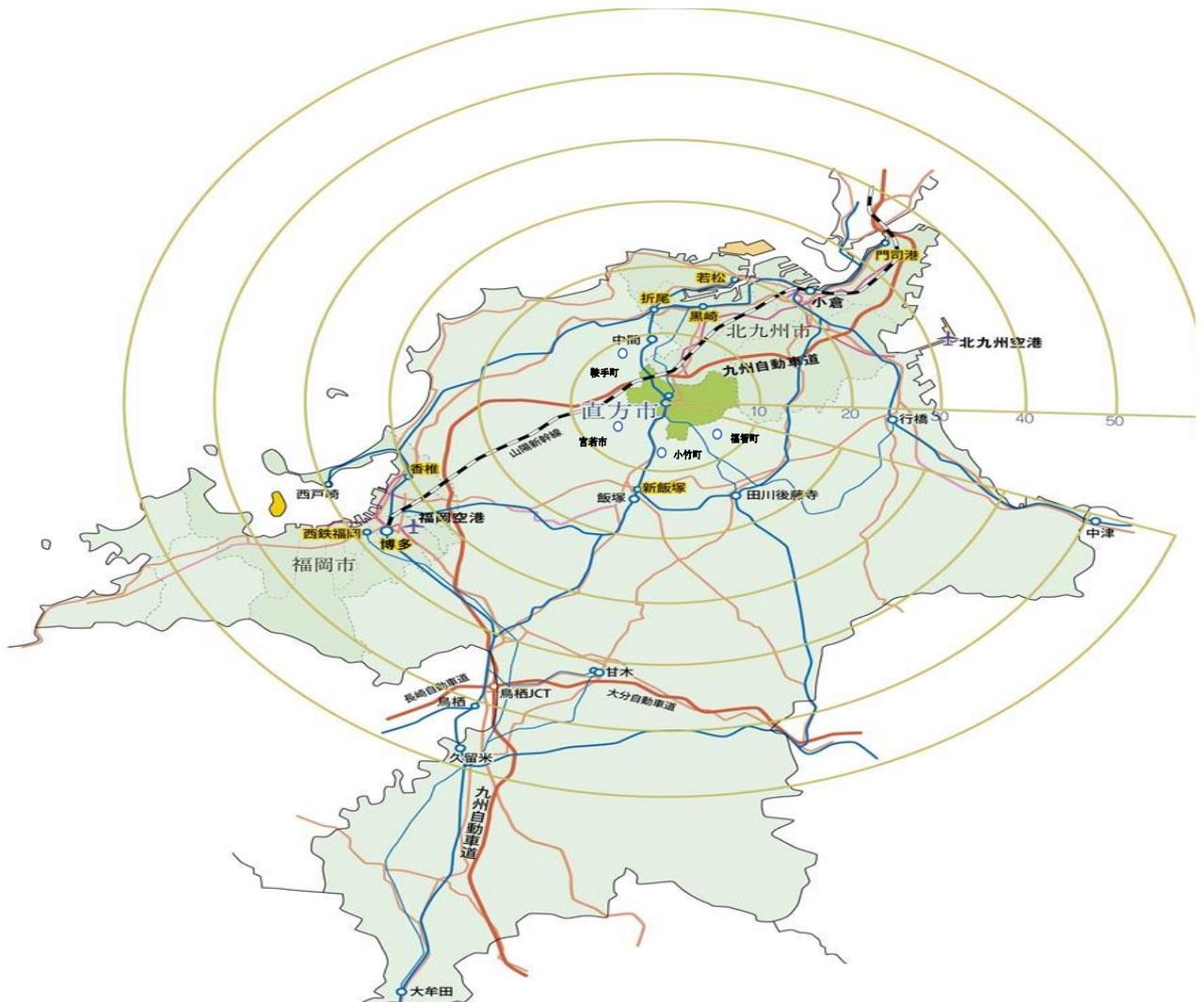
本市の東部には福智山(900.8m)がそびえ、その支脈(平均標高600m)が南北に走っています。

また、西部には六ヶ岳(339m)を中心とした丘陵が北西に広がり、市の中央部は小高い丘を含む比較的平坦な地形になっています。

そして、この中央部を彦山川、犬鳴川などの支流を集めながら遠賀川が北流し、遠賀郡芦屋町で響灘に注いでいます。

本市中心部(市街地)は、この遠賀川とJR福北ゆたか線に挟まれた地帯にあり、東部西部地域は住宅地帯、南部地域は工業地帯、北部地域は農村地帯を中心に形成されています。

### 直方市の位置



## 直方市消防本部の沿革

年次	主なできごと
昭和23年	2月 福岡県告示第55号 直方消防署設置(管轄区域 直方市内及び鞍手郡一円) 消防庁舎仮庁舎直方警察署内に開設 職員定数31人で発足 消防ポンプ自動車(ダッチ)常備消防隊から引継(トヨタ(2)・ニッサン)県から3台配置
	3月 直方市告示第34号 直方市消防本部 直方市消防署設置(管轄区域 直方市) 初代消防長、神門庫市 氏就任
	5月 田川郡赤池町、鞍手郡小竹町と消防相互応援協定締結
昭和24年	2月 消防署長公舎(直方市下老良)及び署僚公舎(直方市山部1394-5)取得
昭和26年	12月 消防ポンプ自動車(いすゞ)購入
昭和27年	9月 飯塚市、田川市と消防相互応援協定締結
昭和29年	4月 防火協力会設立発足(外郭団体)
	6月 消防ポンプ自動車(出光号)購入
昭和30年	2月 防火協力会を直方市消防協力会に改称
	3月 管轄区域の変更、鞍手郡植木町を編入 植木水防倉庫譲受(行政区域編入)
	8月 消防職員定数条例改正により34人(3人増員)
昭和31年	6月 消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和33年	3月 水防倉庫建設(直方市下老良5134-6)
	8月 管轄区域の変更、鞍手郡小竹町赤地の一部を編入
	12月 司令車(ウイルス)市水道課から移管
昭和35年	4月 水防管理団体指定
	9月 直鞍地区危険物安全協会設立発足(外郭団体) 福岡県危険物安全協会連合会加盟
	10月 消防庁舎新築落成 司令車(トヨベツ)[直方市消防協力会から寄贈]
昭和36年	1月 消防自動車(ニッサン)[日本損害保険協会から寄贈]
昭和37年	1月 直方市まとい会設立発足(外郭団体)
	3月 第二代消防長、那須 勉 氏就任
昭和38年	2月 北九州市と消防相互応援協定締結
	4月 救急業務開始 救急自動車(ニッサン)市衛生課から受入
	5月 消防職員定数条例改正により41人(7人増員)
昭和39年	3月 水防倉庫移転改築(直方市御館山644-21)
	10月 鞍手郡宮田町と消防相互応援協定締結
	12月 水槽付消防ポンプ自動車(ニッサン)購入
昭和40年	8月 救急自動車(トヨタ)購入
	12月 鞍手郡鞍手町と消防相互応援協定締結
昭和41年	6月 消防用無線(県内波及び市町村波)整備
	10月 火災報知専用電話(119番)逆探知装置設置
昭和42年	4月 普通乗用車(ニッサン)[直方市消防協力会から寄贈] 風向、風速、水量、水圧計購入 植木水防倉庫老朽化のため解体
	6月 筑豊地区消防設備士会直鞍部会設立発足(外郭団体)
	7月 消防職員定数条例改正により42人(1人増員)
	11月 屈折はしご付消防ポンプ自動車(いすゞ)購入
	8月 水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ)購入
昭和44年	9月 第三代消防長、河村 通 氏就任
	10月 消防署長公舎廃止(地権者賃借契約解約)
	4月 普通乗用車(ニッサン)市から移管
昭和45年	5月 消防司令車(ニッサン)購入
	12月 査察車(ニッサン)[福岡県石油部会直方部会から寄贈]

## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
昭和46年	4月	鞍手郡鞍手町、小竹町と救急業務相互応援協定締結 超短波無線電話装置に切替え
	5月	折りたたみ式アルミボート(ヤマハ船外機付)購入
昭和47年	1月	望楼監視テレビ設置
	4月	自記温湿度計購入
	6月	折りたたみ式アルミボート(トーハツ船外機付)購入
	7月	消防職員定数条例改正45人(3人増員)
	9月	消防ポンプ自動車(いすゞ)購入
	10月	筑豊地区消防相互応援協定締結
昭和48年	4月	第四代消防長、福原八郎氏就任
	7月	普通乗用車(ニッサン)市から移管
	8月	救急自動車(トヨタ)[日本消防協会から寄贈] 救急自動車2台配備体制確立
昭和49年	6月	直方市消防協力を解散
	12月	「直方市民防災の日」制定:毎月1日
昭和50年	3月	直方鞍手広域市町村圏事務組合と救急事務相互応援協定締結
	6月	第12回福岡県総合防災訓練実施
昭和51年	3月	消防救急指令装置I型購入 テレガイド装置5回線運用開始
	4月	救急自動車(トヨタ)[日本損害保険協会から寄贈]
	12月	査察車(ニッサン)[福岡県石油商業組合直方部会から寄贈]
昭和52年	3月	救急法実技指導用人形(幼児等身大1体)[直方市まとい会から寄贈]
	7月	消防救助隊設置(隊長以下11人)及び屋外訓練施設(市民会館裏)整備 水槽付消防ポンプ自動車購入
昭和53年	3月	携帯用中型無線電話機[直方市まとい会から寄贈]
昭和54年	6月	「筑豊地区消防設備士会直鞍部会」を「福岡県消防設備安全協会直鞍支部」に改称
	7月	輸送車(トヨタ)購入
	12月	消防署僚公舎廃止(老朽化) 消防職員定数条例改正49人(4人増員)
昭和55年	3月	水防倉庫改築(直方市知古)
	5月	司令車(ニッサン)購入
	9月	組立式ボート(3人用2隻)購入 病院運用表示盤購入
昭和56年	3月	救急指導用16ミリフィルム2本、救急法実技指導用人形(大人等身大)1体[直方市まとい会から寄贈]
	5月	組立式ボート(3人用1隻)購入
	8月	化学消防ポンプ自動車(日野)購入
	10月	救急自動車(ニッサン)[日本消防協会から寄贈]
昭和57年	8月	消防ポンプ自動車(いすゞ)購入
	12月	福岡県防災行政無線導入
昭和58年	12月	はしご付消防ポンプ自動車(日野15m級)購入
昭和59年	3月	望楼監視テレビ廃止 ホースブリッジ20組[直方市まとい会から寄贈]
	8月	水難救助隊発足(隊長以下13人)
	11月	査察車(トヨタ)購入
	12月	トキー音源装置(テレホンガイド)設置による災害情報の市民広報充実
昭和60年	2月	救急自動車(ニッサン)[日本損害保険協会から寄贈]
昭和61年	4月	第五代消防長、梅津 實氏就任
	7月	河川情報システム(端末機)及びパーソナルコンピュータ導入
	9月	4週5休制試行・実施

## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
昭和61年	10月	高速自動車道における消防相互応援協定締結
昭和62年	2月	事務所集団電話システム化(ビル電話)
	3月	花纏一式[直方市まとい会から寄贈]
	5月	組立式ボート(2人用2隻)購入
		司令車(ニッサン)[直方ロータリークラブから寄贈]
12月	消防緊急指令装置Ⅱ型購入	
昭和63年	2月	水槽付消防ポンプ自動車(日野) 救急自動車(ニッサン) 購入
	4月	4週6休制試行(土曜閉庁:第2、第4土曜1/2方式)
	7月	新消防庁舎用地取得(直方市新町5054-5:1,477.01平方メートル)
	10月	福岡県防災行政無線ファクシミリの導入
	12月	救急自動車3台配備体制確立
平成元年	2月	地図検索装置購入
	3月	福岡県消防相互応援協定締結(広域航空消防応援協定を含む)
	4月	4週6休制実施
	7月	新消防庁舎起工式実施
		救急自動車(いすゞ)[福岡県消防協会から寄贈]
	8月	土曜閉庁(第2、第4土曜日)
	9月	消防用無線(全国波)整備
	10月	救助工作車(いすゞ)[日本損害保険協会から寄贈]
12月	輸送車(トヨタ)購入	
	直方市情報公開条例制定	
平成2年	3月	新消防庁舎建設(直方市新町二丁目5-10)
		液晶ビジョン一式、体力練成用資機材一式、行事等で使用するテント2張り[直方市まとい会から寄贈]
	4月	マイクロバス(ニッサン)市から移管
		新消防庁舎落成式 旧消防庁舎閉庁式実施 新消防庁舎業務開始
	5月	連絡車(スバル)購入
		新消防庁舎開庁式実施
	6月	災害情報等画像転送装置、市総務課から移管
		消防庁舎職員駐輪場新設
9月	直方市情報公開制度開始	
10月	気象情報(観測)収集装置購入	
12月	消防庁舎車庫(西側)オーバースライダー設置	
	市役所新庁舎に消防用無線(空中線)設備設置	
平成3年	4月	第六代消防長、行實清美氏就任
	5月	第28回福岡県総合防災訓練実施
平成4年	3月	救急車(ニッサン)購入
	7月	幼年消防クラブ結成式(保育園12園、幼稚園8園:2,519人)
	8月	完全週休2日制(4週8休)実施
		3当1休・4当1休併用型(H4.8.15~H4.10.10)実施
	10月	3当1休型実施(H4.10.10~)
	11月	消防無線救急波複信化運用開始(救急1・2・3号車)
		幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会:万福寺さくら保育園) 査察車(ニッサン)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
12月	高度救急資機材整備(6点セット)	
平成5年	4月	消防用(水防・水難)ゴムボート(1隻)購入
	5月	消防救助隊訓練施設整備(斜めブリッジ救助用訓練施設)
	9月	救助用資機材(油圧エンジン)整備

## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
平成6年	1月	幼年消防クラブ鼓笛セット伝達式(日本防火協会・下境幼稚園)
	2月	救急自動車(ニッサン)[福岡県共済農業組合連合会から寄贈]
	4月	移動無線ファックス購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	5月	油圧救助器具用チェーンセット整備
	6月	消防庁舎監視用カメラ導入(白黒固定テレビカメラ3台・白黒ビデオ受信機1台)
		消防庁舎指令室シャッター設置工事
	7月	蘇生訓練用生体シミュレーター整備
12月	超短波無線電話装置第1装置更新(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)	
平成7年	3月	消防庁舎環境整備事業
		[庁舎西側(浄化槽上)の舗装、浴室ガス給湯器取替え、待機室畳張替え]
		消防自動車(いすゞ)購入(自動昇降装置付電動ホースレイヤー装備)
	4月	福岡県消防設備安全協会直轄支部の事務局に関する会則改正
	8月	携帯・自動車電話機の整備
10月	化学防護服の整備	
12月	非常順次通報装置、防火衣の整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)	
平成8年	1月	消防長専用公用車の配置(市議会事務局から移管)
	3月	高規格救急車購入(高度救急資機材整備9点セット、自動車電話)
	4月	消防職員定数条例改正53人(4人増員)
		向野敏昭助役、消防長事務取扱いに就任
		直方市消防吏員服制規則を改正、キャップ式略帽を採用
		26人乗りマイクロバス配置(市建設部から移管)
	7月	消防職員定数条例改正54人(1人増員)
		第七代消防長、安田英人氏就任(市建設部次長から)
		伝送用携帯電話及びファックスの整備
	10月	直方市消防本部消防職員委員会に関する規則の制定(消防職員委員会制度の発足)
119番通報訓練装置購入		
11月	オゾン殺菌紫外線殺菌機ロッカー設置	
	福岡県震度情報ネットワークシステム(福岡県事業)、震度計設置	
12月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野)購入	
	防火衣整備(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)	
平成9年	3月	指揮車(トヨタ)購入
	4月	第八代消防長、藤永誠一氏就任(市市民福祉部保護課長から)
		直方市消防本部組織規則の一部改正(係名、部変更及び分掌事務見直し実施)
	5月	連絡車(三菱)購入
	7月	消防庁舎防水工事施工
	8月	福岡県知事から感謝状(自治体消防50年記念)
	10月	救命ボート(船外機付)購入
	11月	15人乗りマイクロバス配置(失業対策課から移管)
輸送車(トヨタ)購入		
12月	空気呼吸器(3セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)	
平成10年	3月	消防庁舎環境整備事業(更衣室床張り)
		高規格救急車購入(高度救命用資機材整備10点、自動車電話及びFAX)
	8月	救急救命士による救急業務運用開始
	11月	福岡県防災・行政情報通信ネットワーク衛星系回線の暫定運用開始
		福岡県防災行政無線及び無線ファクシミリの廃止
12月	心電図電送装置及び半自動除細動器購入	
	空気呼吸器(1セット)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)	

## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
平成11年	2月	はしご付消防自動車(日野30m級)購入
	3月	6週12休制実施 2当1休型(3週間につき1日の日勤勤務)(H11.3.20~)
平成12年	1月	水槽付消防ポンプ自動車(日野)購入
	3月	消防緊急通信指令施設(富士通ゼネラル)運用開始 (指令装置I型、支援情報検索処理装置、地図等検索装置、発信地表示装置) 指揮車(ニッサン)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	第九代消防長、舌間英規氏就任(直方・鞍手広域市町村圏事務組合事務局長から)
	7月	高規格救急車(トヨタ)及び高度救命処置用資機材購入
平成13年	1月	資機材(空気呼吸器3セット、携帯無線機5W:10台)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成14年	1月	資機材(空気呼吸器1セット、防火衣ズボン54着、編上げゴム長靴54足購入)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	小型動力ポンプ付水槽車(日野)購入
	4月	第十代消防長、田村耕造氏就任
	11月	資機材(空気呼吸器4セット、ラインプロポーションナー2式、消防用ホース50mm32本)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成15年	11月	資機材(酸素溶断機)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成16年	1月	資機材(ペダルカッター・ドアオープナー)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 広報車(ホンダ)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	資機材(消防用ホース50mm20本、65mm10本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	AED(自動体外式除細動器)一式、トレーニングユニット一式[直方市まとい会から寄贈]
	4月	緊急消防援助隊に消火隊を登録
	7月	資機材搬送車(三菱)購入
平成17年	3月	資機材(マット型空気ジャッキ、消防用ホース50mm28本、65mm52本)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	第十一代消防長、林友治氏就任
	7月	AED1台及びトレーニングシステム購入
	11月	携帯電話119直接受信運用開始
	12月	連絡車(ニッサン)市から移管
平成18年	2月	高規格救急車(トヨタ)及び高度救命処置用資機材購入
	3月	資機材(消防用ホース50mm16本・65mm32本、救助用支柱器具及び切断器具)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 行事用テント2張り[直方市まとい会から寄贈]
	4月	第十二代消防長、岡本義次氏就任
	10月	救助工作車II型(日野)購入
平成19年	3月	防火衣24着購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	緊急消防援助隊に救急隊を登録(変更)
	8月	防火衣30着購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成20年	9月	全自動高圧蒸気滅菌器購入
平成21年	2月	資機材(呼吸器外装型気密服、移動式エアライン外)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	はしご付消防自動車(日野30m級)オーバーホール
	11月	災害用フレームテント購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	12月	救急安心カード運用開始 高規格救急車(トヨタ)及び高度救命処置用資機材購入 九州北部豪雨に伴い福岡県消防相互応援協定に基づき派遣隊員として活動
平成22年	7月	高規格救急車(トヨタ)及び高度救命処置用資機材購入

## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
平成22年	10月	消防緊急通信指令施設(富士通ゼネラル)部分更新
平成23年	1月	輸送車(トヨタ)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	2月	資機材(空気ポンペ6本、面体8個、レスキューフード4個)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	行事用テント2張り寄贈「直方市まとい会」
	4月	第十三代消防長、毛利正史氏 就任
	11月	総務大臣表彰(東日本大震災に伴う緊急援助隊活動)
平成24年	2月	資機材(消防用ホース80本、空気ポンペ6本、面体7個、噴霧ノズル3個)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防救急無線デジタル整備事業基本設計実施
	4月	職員定数条例改正により消防職員数56人(2人増員)
	10月	飯塚病院ドクターカー運用開始
	11月	幼年消防クラブ結成20周年記念行事開催
	12月	消防OAシステム(救急統計システム)導入
	1月	署活動用無線機25台購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成25年	2月	消防救急無線デジタル整備事業実施設計実施 資機材(空気ポンペ9本、都市型救助資機材一式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	直方市消防本部組織規則改正(3課8係→3課9係、次長職の廃止)
	6月	資機材(一体型FRPポート、ウエットスーツ2着)購入
	10月	位置情報通信装置(統合型)導入
	2月	資機材(空気呼吸器5基、空気ポンペ9本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成26年	3月	消防救急無線デジタル整備事業基地局無線設備設置
	10月	職員定数条例改正により消防職員数58人(2人増員)
	1月	行事用テント1張り、出初式のぼり旗一式[直方市まとい会から寄贈] 防火査察車(ニッサン)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 資機材(噴霧ノズル4個、空気ポンペ1本、水幕ホース4本)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成27年	3月	消防救急無線デジタル整備事業移動局無線設備設置
	6月	はしご付消防自動車(日野30m級)オーバーホール(2回目)
	1月	高規格救急車(トヨタ)及び高度救命処置用資機材購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 資機材(消防ホース50本、空気ポンペ5本、LEDバルーン照明2式)購入 (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月	資機材(潜水用ヘルメット5個、メタリコンタンク2本、インパクトドライバー)購入
平成28年	4月	直方市消防本部組織規則改正(3課9係→3課10係) 直方市消防吏員階級服制規則改正 直方市AED設置施設登録制度推進事業開始 熊本地震に伴い緊急消防援助隊として派遣
	12月	消防ポンプ自動車(CD-1)更新・運用開始 (電動アシスト付消防ホースカー・自動泡混合システム・梯子昇降装置)
	1月	消防庁舎北側指令室上部防水改修及び外壁塗装改修工事
	2月	消防庁長官表彰(熊本地震に伴う緊急消防援助隊活動)
	4月	庁舎南側訓練施設修繕工事
平成29年	5月	嘉麻市産業廃棄物火災に伴い福岡県消防相互応援協定に基づき派遣
	7月	資機材(水難資機材BCジャケット)購入 九州北部豪雨に伴い福岡県消防相互応援協定に基づき派遣
	8月	庁舎外構工事(玄関前掲示板)
	2月	消防緊急通信指令施設(富士通ゼネラル)部分更新
平成30年	3月	防火衣25着購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 消防庁舎外部改修工事

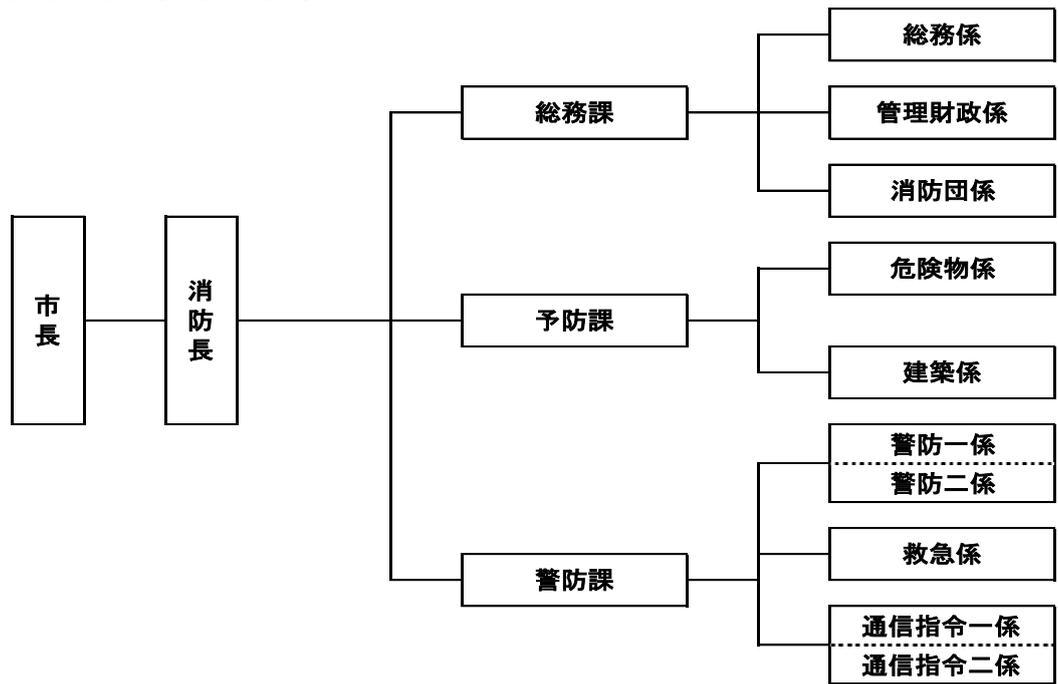
## 直方市消防本部の沿革

年次		主なできごと
平成30年	10月	防火衣33着購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成31年	1月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)更新(自動泡混合システム)

# 直方市消防本部・消防署の組織

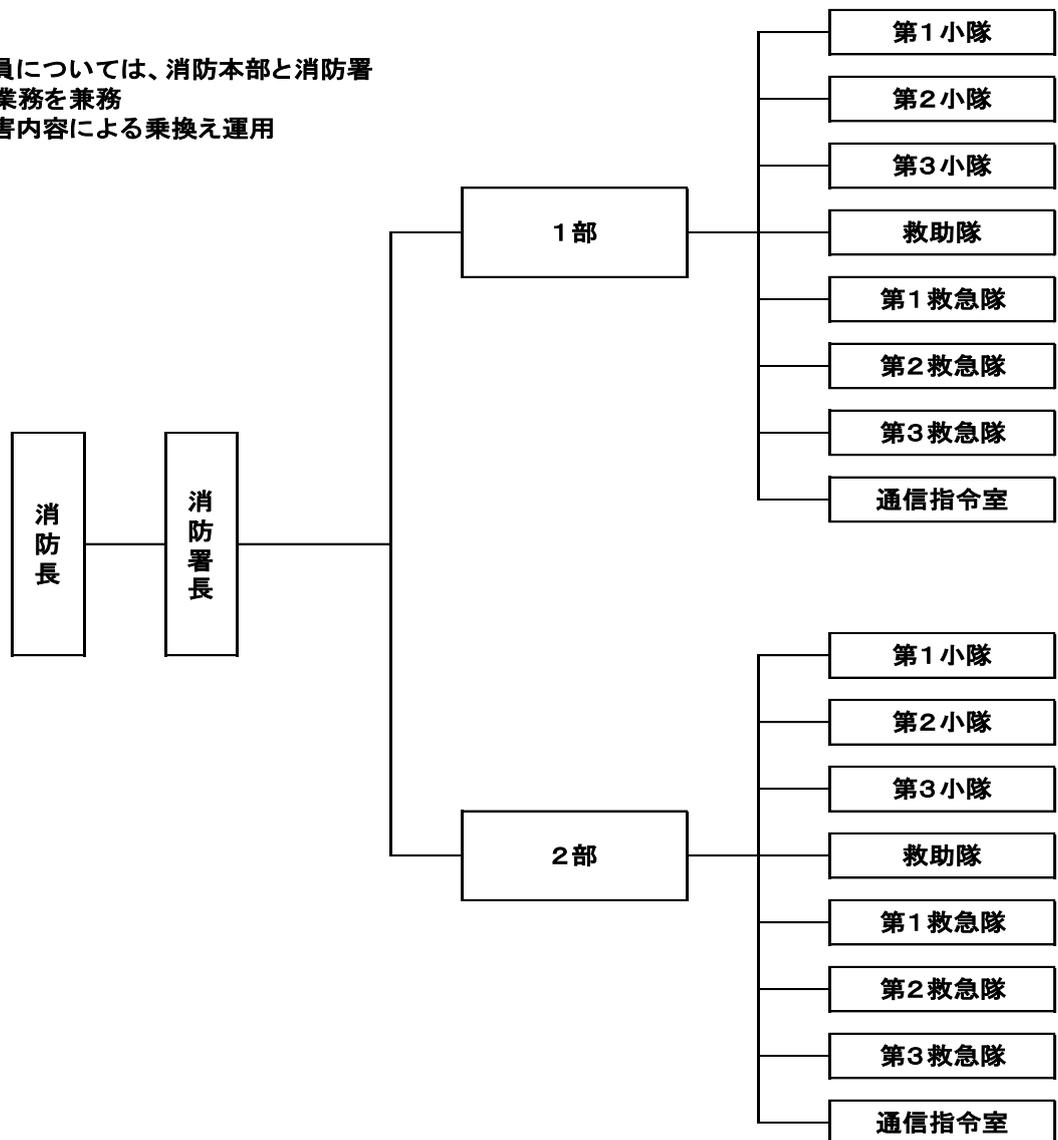
(平成31年4月1日現在)

## 消防本部



## 消防署

- 職員については、消防本部と消防署の業務を兼務
- 災害内容による乗換え運用



# 直方市消防本部事務分掌

## 総務課

### 総務係

- (1) 消防本部事業の総合調整に関する事。
- (2) 職員の任免、服務等その他身分に関する事。
- (3) 職員の人事、研修及び学校教育に関する事。
- (4) 職員の公務災害補償に関する事。
- (5) 職員の表彰及び団員の表彰(消防協会に係るものを除く。)に関する事。
- (6) 文書管理及び公印管理に関する事。
- (7) 条例、規則等の例規管理に関する事。
- (8) 消防史及び沿革等の記録に関する事。
- (9) 消防年報、統計調査等に関する事。
- (10) 消防長会に関する事。
- (11) 消防職員委員会に関する事。
- (12) 安全衛生委員会に関する事。
- (13) 直方市まとい会に関する事。
- (14) 他の課又は他の係に属さない事務に関する事。

### 管理財政係

- (1) 消防本部事務事業計画の企画に関する事。
- (2) 消防本部の予算及び決算に関する事。
- (3) 職員の給与、手当等に関する事。
- (4) 職員の被服、貸与品、共済及び福利厚生に関する事。
- (5) 庁舎の維持管理及び備品等の管理に関する事。
- (6) 補助金、交付金等に関する事。
- (7) 財産の管理に関する事。
- (8) その他財政に関する事。

### 消防団係

- (1) 消防団の予算及び決算に関する事。
- (2) 消防団員の任免、報酬及び費用弁償等に関する事。
- (3) 消防団員の報償に関する事。
- (4) 消防団員の公務災害補償に関する事。
- (5) 消防団員の服制等の貸与品に関する事。
- (6) 消防団施設及び機械器具等の維持管理に関する事。
- (7) 消防団員の教養、研修及び学校教育に関する事。
- (8) 消防団の行事及び訓練等に関する事。
- (9) 消防協会に関する事。
- (10) その他消防団に関する事。

## 予 防 課

### 危険物係

- (1) 危険物の規制事務に関すること。
- (2) 危険物施設等の予防査察に関すること。
- (3) 危険物施設等の違反是正に関すること。
- (4) 危険物施設等の自衛消防隊の育成指導に関すること。
- (5) 危険物施設等の統計に関すること。
- (6) 少量危険物及び指定可燃物に関すること。
- (7) 液化石油ガス等の届出等及び意見書の交付に関すること。
- (8) 圧縮アセチレンガス等の届出等に関すること。
- (9) 火気使用設備等に関すること。
- (10) 危険物施設等の災害及び事故調査に関すること。
- (11) 危険物施設の許認可に関すること。
- (12) 火災予防運動に関すること。
- (13) 消防の予防広報及び防火思想の普及宣伝に関すること。
- (14) 防火クラブに関すること。
- (15) 危険物安全協会に関すること。
- (16) その他危険物に関すること。

### 建築係

- (1) 建築許可等の同意等に関すること。
- (2) 消防用設備等に関すること。
- (3) 防火対象物の予防査察に関すること。
- (4) 防火対象物の違反是正に関すること。
- (5) 防火管理に関すること。
- (6) 防火対象物の統計に関すること。
- (7) 住宅防火に関すること。
- (8) 旅館等の意見書交付に関すること。
- (9) 防火対象物の使用開始等に関すること。
- (10) 演劇・催物等の開催に関すること。
- (11) 消防設備安全協会に関すること。
- (12) その他建築に関すること。

## 警 防 課

### 警防一係・警防二係

- (1) 災害の警戒警備に関すること。(消防特別警戒等を含む。)
- (2) 災害の原因及び損害の調査に関すること。
- (3) 災害の罹災証明に関すること。
- (4) 火災警報及び火の使用の制限並びに林野火入れ許可に関すること。
- (5) 災害状況の報告及び災害の統計に関すること。(救急・救助に関するものを除く。)
- (6) 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊に関すること。
- (7) 水利の整備及び維持管理並びに開発行為に関すること。
- (8) 災害の警防計画の策定及び実施に関すること。
- (9) 消防力の整備指針に関すること。
- (10) 消防車両及び機械器具等の整備、運用及び維持管理に関すること。(救急に関するものを除く。)
- (11) 即時通報に関すること。
- (12) 国民保護及び災害時配慮者等の対策に関すること。
- (13) 火災予防条例の規定に基づく各種届出(予防課に関するものを除く。)に関すること。
- (14) その他警防及び防災に関すること。
- (15) 総合的災害演習及び各個別訓練の計画並びに安全管理に関すること。(救急に係るものを除く。)
- (16) 救助隊員(水難救助隊員を含む。)の養成に関すること。
- (17) 救助隊員(水難救助隊員を含む。)の運用及び教育、研修等に関すること。
- (18) 救助の業務計画の策定及び実施に関すること。
- (19) 救助工作車及び資機材・器具等の整備、運用及び維持管理に関すること。
- (20) 機関員の養成に関すること。
- (21) 救助統計に関すること。
- (22) その他救助に関すること。

### 救急係

- (1) 救急車及び救急処置用資器材等の整備、運用及び維持管理に関すること。
- (2) 救急医療機関及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (3) 救急訓練及び安全衛生管理に関すること。
- (4) 救急隊員の運用及び教育、研修等に関すること。
- (5) 救急に関する行事の企画に関すること。
- (6) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (7) 救急統計に関すること。
- (8) 患者等搬送事業に関すること。
- (9) 救急搬送証明に関すること。
- (10) その他救急に関すること。

## 通信指令一係 ・ 通信指令二係

- (1) 火災及び救急等の受信並びに出動指令に関する事。
- (2) 気象観測及び気象情報の収集に関する事。
- (3) 火災及び救急等の情報収集並びに連絡調整に関する事。
- (4) 消防通信の運用、整備及び保守管理に関する事。
- (5) 消防緊急通信指令施設の整備及び保守管理に関する事。
- (6) 職員の非常招集に関する事。
- (7) 防災関係機関との連絡調整に関する事。
- (8) その他通信指令に関する事。

## 直方市消防署の事務

1. 管轄区域内における水火災の警戒、防ぎよに関する事。
2. 救急業務に関する事。
3. 救助業務に関する事。
4. 地理水利調査、警防調査に関する事。
5. 避難訓練指導に関する事。
6. その他消防に関する事。

# 総務編



インターンシップ【就業体験】 「普通救命講習」



## 消防本部・消防署の位置及び管轄区域

名称	位置	管轄区域
直方市消防本部 直方市消防署	直方市新町2丁目5番10号	直方市一円

## 消防庁舎

	敷地面積	床面積(1F)	床面積(2F)	床面積(3F) (塔屋部分含む)	延面積	建築年月日
直方市消防本部 直方市消防署	1,847.22 m <sup>2</sup>	643.95 m <sup>2</sup>	673.39 m <sup>2</sup>	341.51 m <sup>2</sup>	1,658.85 m <sup>2</sup>	H2. 3. 31

## 消防力の整備指針による基準と現有

区分	車両			人員		
	基準数	現有数	充足率	現有車両等に対する基準数	現有数	充足率
署所の数	2	1	50%			
消防ポンプ自動車	4	2	50%	27	27	100%
はしご自動車	1	1	100%	15	0	0%
化学消防自動車	1	1	100%	乗換運用	0	0%
指揮車	1	1	100%	9	3	33%
水槽車(特殊車)	1	1	100%	6	6	100%
救急自動車	3	3	100%	27	9	33%
非常用救急自動車	1	1	100%			
救助工作車	1	1	100%	15	7	47%
小計 ア	13	11	85%	99	52	53%
通信員				6	6	100%
庶務の処理等の人員				1	2[1]	100%
予防要員				14	0	0%
小計 イ	0	0	0	21	8	38%
合計 ア+イ	13	11	85%	120	60[1]	50%

[1]は新規採用職員で内数 【条例定数 58人】

## 消防費予算額

(単位:千円)

区分	当初予算額		比較
	平成30年度	平成31年度	
常備消防費	485,114	480,158	▲4,956
非常備消防費	56,536	51,702	▲4,834
消防施設費	151,655	97,573	▲54,082
計	693,305	629,433	▲63,872

## 人口・世帯数当りの消防費所要額

項目 年度	1人当り消防費	1世帯当り消防費	算定の基礎	
			人口	世帯数
平成30年度	12,165円	25,678円	56,988人	26,999世帯
平成31年度	11,111円	23,216円	56,645人	27,112世帯

### 職員数の推移状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日			
採用	昇任	異動	退職
1人	2人	13人	1人

### 職員の配置状況

(平成31年4月1日現在)

役職	消防長	消防署長	課長	係長	係員				計
職名	理事		参事	参事補	主査	主任	主事	主事補	
実員	1※	1※	3	10	16	11	12	6	60

※消防長・消防署長については、北九州市消防局から派遣受入

条例定数 58人

### 職員の勤続年数

(平成31年4月1日現在)

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
5年未満							8	8
5年以上 10年未満					2	4	8	14
10年以上 15年未満					6	1		7
15年以上 20年未満				3	2			5
20年以上 25年未満				7	6			13
25年以上 30年未満			1	2	3			6
30年以上	1	1	2	1	2			7
計	1	1	3	13	21	5	16	60

平均勤続年数 16.4年

### 職員の年齢

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18～20							2	2
21～25							7	7
26～30					5	2	7	14
31～35					3	3		6
36～40					3			3
41～45				6	7			13
46～50				6				6
51～55	1	1	1	1	3			7
56～60			2					2
計	1	1	3	13	21	5	16	60

平均年齢 37.6歳

### 平成30年度職員の表彰

区分	全国消防長会	福岡県消防長会	県知事	市長
永年勤続功労			1人	5人
消防特別功労	1人			

平成 30 年度職員の研修

研修機関	研修内容	延べ人数
福岡県消防学校	第 134 回初任教育	1
	第 11 回初級幹部(A)	1
	第 47 回初級幹部(B)	1
	第 12 回警防実務研修	4
	第 7 回救急救命士処置拡大研修	1
	第 16 回危険物科	2
	第 35 回救急科	1
	消防操法指導員研修	2
北九州市消防訓練研修センター	火災調査講習会	4
	平成 30 年度第三級陸上特殊無線技士講習会	2
	はしご自動車等操作員研修	1
	平成 30 年度救助事例研究会	2
	平成 30 年度火災調査発表会	1
飯塚病院	救急救命士就業前病院実習	1
	救急救命士病院実務再研修	6
	筑豊地域救命救急研究会研究部会	12
	救急活動事後検証	12
	MCLS 標準コース	3
市町村研修所	新任係長研修	1
	チームビルディング研修	1
	新任課長研修	1
	コーチング研修	1
その他	消防本部の管理職員向け説明会及びハラスメント等 窓口相談員向け研修会	1
	消防本部(局)総務・警防担当課長研修会	1
	平成 30 年度福岡県消防長会警防委員会事務事業 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨研修会」	2
	平成 30 年度指導救命士養成研修 「総合シミュレーション演習」見学	3
	平成 30 年度原子力防災基礎研修	2
	平成 30 年度法定講師研修会	1
	第 20 回筑豊地域救命救急研修会	9
	高速自動車道福岡県消防連絡協議会「研修会」	1
	平成 30 年度高速自動車道福岡県消防連絡協議会 北部地区研修会	8
	通信指令員スキルアップ研修	1
	危険物実務研修会	6
	平成 30 年度違反是正の推進に係る実務研修	6
	消防本部(局)総務・予防担当課長研修会	1
	平成 30 年度直轄地区危険物安全協会研修視察	2
	平成 30 年度消防職員安全衛生管理研修会	2
	平成 30 年度原子力災害対策要員研修	2
	火災調査研修会	5
	違反処理研修	2
	平成 30 年度危険物実務研修会	3
	平成 30 年度全国消防長会九州支部消防長研修会	1
	119 番通報・3 者間同時通訳導入研修会	1
	平成 30 年度福岡県消防長会消防長研修会	1
	各地区危険物安全協会実務担当者研修会	1
平成 30 年度福岡県消防救助技術指導者研修会	2	

その他	第9回福岡県消防団員研修会	1
	消防団員等公務災害補償等実務研修会	1
	甲種防火管理新規講習	1
	安全運転管理者講習会	1
	平成30年度福岡県消防長会総務実務者講習会	2
	第37回福岡救急医学会学術集会	4
	防火・防災管理講習会会議	1

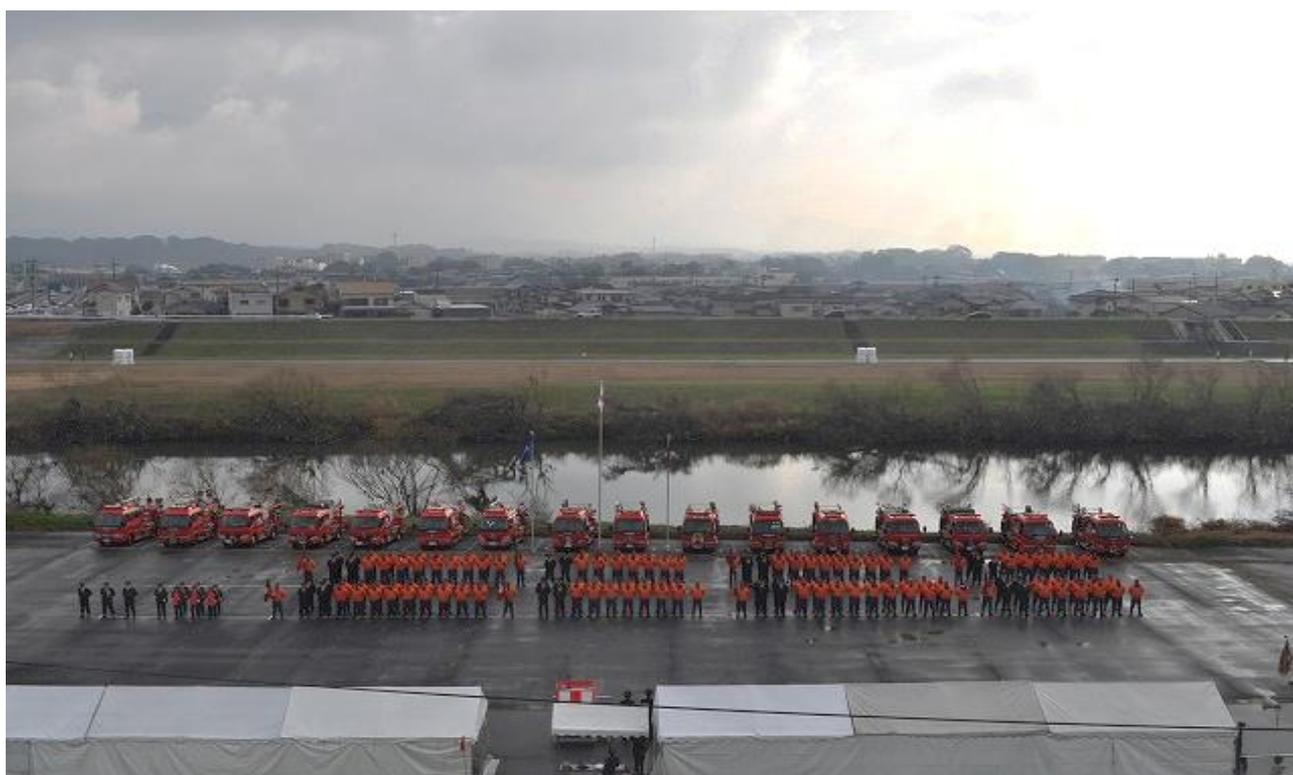
### 平成30年度職員資格等

研修機関	研修内容	延べ人数
北九州市消防訓練研修センター	第三級陸上特殊無線技士免許	2
おんが自動車学校	中型自動車第一種運転免許	2

### 各種資格取得状況 (平成31年4月1現在)

資格名称	人数
大型自動車第一種運転免許	34
中型自動車第一種運転免許	2
救急救命士	15
応急手当指導員講習	40
小型船舶操縦士	5
潜水土	26
小型移動式クレーン運転技能講習	25
玉掛け技能講習	25
第三級陸上特殊無線技士	44

# 消防団



平成31年直方市消防出初式



## 直方市消防団の沿革

年 次		主なできごと
明治27年	2月	直方町消防組が組織（初代組頭 庄野 與助氏）
明治42年	4月	下境村消防組が組織（初代組頭 長谷川 潔氏）
	不明	公設の新入村消防組が公設（初代組頭 青柳 郁次郎氏）
		村内消防組を統一し、公設の頓野村消防組が組織（初代組頭 山本 敏彦氏）
		植木町の公設消防組が組織（初代組頭 香月 澄太郎氏）
大正14年	6月	福地村消防組が公設（初代組頭 清水 英雄氏）
大正15年	11月	直方町と新入・頓野・下境・福地各村の合併に伴い、新直方町発足
昭和2年	1月	新直方町の地域を5部制とする新直方町消防組が発足
昭和4年	不明	直方町消防組の組織を5部制から13部制に改正
昭和6年	1月	直方町は市制を施行し、直方市消防組に改称
昭和14年	4月	直方市消防組を解散し、直方市警防団が発足
昭和23年	12月	直方市警防団を解散
		消防組織法及び消防法公布により直方市消防団を設置（直方市消防団設置規則制定）
		直方市初代消防団長に、直方市警防団長 佐田 徳一氏が引き続き就任
昭和30年	3月	直方市へ植木町編入合併に伴い消防団組織を16分団制に改編
昭和38年	12月	直方市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金支給条例制定
昭和39年	4月	直方市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例制定
昭和41年	4月	直方市消防団員等公務災害補償条例制定
昭和43年	7月	直方市消防団の設置等に関する条例及び直方市消防団の組織等に関する規則並びに直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例制定（消防団組織を16分団制から7分団16部制に改編）
	9月	第2分団第2部 格納庫新築落成（直方市新知町1468番地4）
昭和44年	7月	第1分団第2部 格納庫新築落成（直方市殿町718番地2）
昭和50年	8月	第2分団第1部 格納庫新築落成（直方市日吉町42番地1）
昭和51年	12月	第5分団第3部（現第5分団第2部） 格納庫新築落成（直方市感田1375番地）
昭和53年	3月	第7分団第2部 格納庫新築落成（直方市植木1648番地8）
昭和54年	3月	第6分団第2部 格納庫新築落成（直方市山部616番地11）
		第7分団第1部 格納庫新築落成（直方市植木504番地）
昭和55年	3月	第4分団第3部（現第8分団第2部） 格納庫新築落成（直方市永満寺2114番地2）
昭和56年	10月	第5分団第1部 格納庫新築落成（直方市上頓野2579番地1）
昭和57年	11月	第4分団第1部 格納庫新築落成（直方市下境2161番地3）
昭和58年	3月	第3分団第1部 格納庫新築落成（直方市溝掘3丁目4412番地2）
昭和59年	10月	第1分団第1部 格納庫新築落成（直方市新町3丁目99番地1）
昭和60年	10月	第3分団第2部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
昭和61年	12月	第1分団第2部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
昭和62年	11月	第5分団第1部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
昭和63年	9月	第4分団第1部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
	10月	直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正（報酬及び費用弁償の引上げ）
平成元年	10月	第1分団第1部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
平成2年	4月	直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正（報酬及び費用弁償の引上げ）
	8月	団本部 広報車（トヨタ）配置（日本消防協会より寄贈） 第6分団第2部 消防ポンプ車（いすゞ）購入
平成3年	12月	第4分団第3部（現第8分団第2部） 消防ポンプ車（いすゞ）購入
		第5分団第2部（現第4分団第2部） 消防ポンプ車（いすゞ）購入

## 直方市消防団の沿革

年次	主なできごと
平成4年	4月 直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正(報酬の引上げ)
	10月 第7分団第2部 消防ポンプ車(いすゞ)購入
平成5年	4月 直方市消防団の組織等に関する規則改正(消防団組織を7分団16部制から8分団16部に改編)
	10月 第2分団第2部 格納庫外壁・内装・給排水・電気改修工事
	12月 第2分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)購入
平成6年	7月 直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正(報酬及び費用弁償の引上げ)
	10月 第7分団第1部 格納庫外壁・シャッター改修工事
	12月 第7分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
平成7年	10月 第3分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
平成8年	7月 直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正(報酬及び費用弁償の引上げ)
	11月 第2分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
平成9年	2月 第3分団第2部 格納庫新築落成(直方市中泉1018番地1)
	7月 直方市消防団の組織等に関する規則改正(筑豊地区初の女性消防団員配置 10名任命)
	12月 第5分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新 防火衣一式(ヘルメット、上衣、胴長靴)67式購入(各部4式・団本部3式) (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成10年	12月 第6分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新 防火衣一式(ヘルメット、上衣、胴長靴)96式購入(各部6式) (石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月 女性消防団員(10人)に夏用作業服一式[直方市まとい会から寄贈]
平成11年	11月 ラインプロポーションナー泡ノズル(16式)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	3月 第8分団第1部 格納庫新築落成(直方市上境375番地4)、消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新 消防団にのぼり旗(一竿・小)一式[直方市まとい会から寄贈]
平成12年	11月 第3分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
	3月 第4分団第2部 格納庫新築落成(直方市頓野1711番地1、1712番地)
平成13年	9月 第7分団第2部 格納庫屋根・外壁改修工事
	10月 第5分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
	11月 第1分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
	7月 消防団にのぼり旗(一竿・大)一式[直方市まとい会から寄贈]
平成15年	7月 第7分団第2部 サイレン設置工事
	9月 第1分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
	10月 第5分団第1部 格納庫増築工事
	11月 第4分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・三菱)更新
平成16年	1月 団本部 広報車(ホンダ)購入(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月 第6分団第1部 格納庫新築落成(直方市下新入25番地6)
平成17年	3月 夜光反射チョッキ 16着購入(各部1着)
	4月 石綿対策、防塵マスク83個購入(各部5個・団本部3個)
	8月 ふくおかコミュニティ無線を分団格納庫に設置
	11月 第4分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
平成18年	3月 65ミリホース32本購入(各部2本)(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業) 第6分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新 第8分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・いすゞ)更新
	4月 ケブラー手袋80双購入(各部5双)
	2月 第7分団第1部 サイレン塔設置工事
平成19年	3月 第5分団第2部 サイレン塔設置工事

## 直方市消防団の沿革

年 次		主なできごと
平成20年	1月	ケブラー手袋80双購入(各部5双)
	3月	日本消防協会より多機能型車両(いすゞ)を交付
	4月	ケブラー手袋80双購入(各部5双)
	6月	第7分団第2部 サイレン塔設置工事
平成21年	7月	インフルエンザ対策、マスク17箱購入(各部1箱・団本部1箱)
	9月	インフルエンザ対策、消毒液一式17箱購入(各部1箱・団本部1箱)
平成22年	3月	第2分団第1部 格納庫移転新築落成(直方市日吉町41番地1) 第6分団第1部 格納庫公共下水道つなぎ込み改修工事
	7月	高所作業用安全带16個購入(各部1個)
	9月	活動服一斉貸与(264着)
平成23年	3月	セイバーライト51個購入(各部3個・団本部3個)
	12月	65ミリホース32本購入(各部2本)(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
平成24年	3月	作業手袋169双購入(各部10双・団本部9双)
	8月	ヘッドライト83個購入(各部5個・団本部3個)
	9月	第7分団第2部 消防ポンプ自動車(CD-I型・トヨタ)更新
	10月	直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正 及び直方市消防団の組織等に関する規則改正 (階級別の定数見直し一女性団員に部長1名及び班長2名配置)
	11月	第1分団第2部 格納庫外壁改修工事
	12月	レインウェア一斉貸与(285着)
平成25年	2月	第7分団第1部 格納庫トイレ・公共下水道つなぎ込み改修工事
	4月	救命胴衣131着購入(各部8着・団本部3着)
	5月	水防用バリケード160個(各部10個&トラロープ1巻)[市 市民協働課から貸与]
	7月	ゴーグル163個購入(各部10個・団本部3個)
平成26年	3月	トランシーバー54個購入(各部3個・団本部6個)[石油貯蔵施設立地対策等交付金事業] 第4分団第1部 格納庫外壁改修工事
	4月	直方市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例改正 (最低20万円及び一律5万円の引上げ)
	7月	65ミリホース32本購入(各部2本)[石油貯蔵施設立地対策等交付金事業]
	8月	安全チョッキ(消防団員安全装備品整備等助成事業)
	12月	防寒衣一斉貸与285着
平成27年	2月	ヘッドライト160個購入(各部10個)
	3月	第2分団第2部 消防ポンプ車(CD-I型・トヨタ)更新 第8分団第2部 格納庫外壁改修工事
	4月	直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正 (班長及び団員の報酬引上げ) 消防団協力事業所表示制度実施要綱制定運用開始
	6月	第1分団第2部 格納庫待機室床改修工事
	7月	ケブラー手袋160双購入(各部10双) 第3分団第2部 格納庫外壁改修工事
	10月	第5分団第1部 格納庫外壁改修工事
		編み上げゴム長靴160足購入(各部10足)
平成28年	2月	第7分団第1部 消防ポンプ車(CD-I型・トヨタ)更新 第1分団第2部 格納庫給水管改修工事
	3月	第5分団第1部 格納庫トイレ改修工事
		第3分団第1部 格納庫外壁改修工事
	4月	直方市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例改正 (部長の報酬引上げ) 消防団協力事業所表示証交付(株式会社フタバ九州直方工場・株式会社創信)

## 直方市消防団の沿革

年 次		主なできごと
平成28年	6月	第3分団第2部 格納庫サイレン取替工事
	10月	消防団協力事業所表示証交付(興栄建設)
平成29年	1月	第3分団第1部 格納庫サイレン塔屋根撤去工事
	2月	第6分団第2部 格納庫屋根修繕工事
		第3分団第1部 消防ポンプ自動車(CD- I 型・トヨタ)更新
		「直方市消防団応援の店」制度運用開始
	3月	消防団防火服一式83着更新(各部5着・団本部3着)(石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)
	4月	団協力事業所表示証交付 たくみ(株)たくみ苑
	7月	消防団員活動Tシャツ購入貸与(全団員2枚)
11月	第2分団第1部 消防ポンプ自動車(CD- I 型・トヨタ)更新	
平成30年	3月	災害時活動用ベスト貸与(各部1着)
		銀長靴貸与(各部3足)
	12月	第1分団第2部 格納庫解体工事
平成31年	2月	ヘルメット211個購入(各部13個・団本部3個)
	3月	第8分団第2部 格納庫屋根修繕工事
		第3分団第2部 格納庫サイレン塔塗装工事(第1期)

## 歴代消防団長

(平成31年4月1日現在)

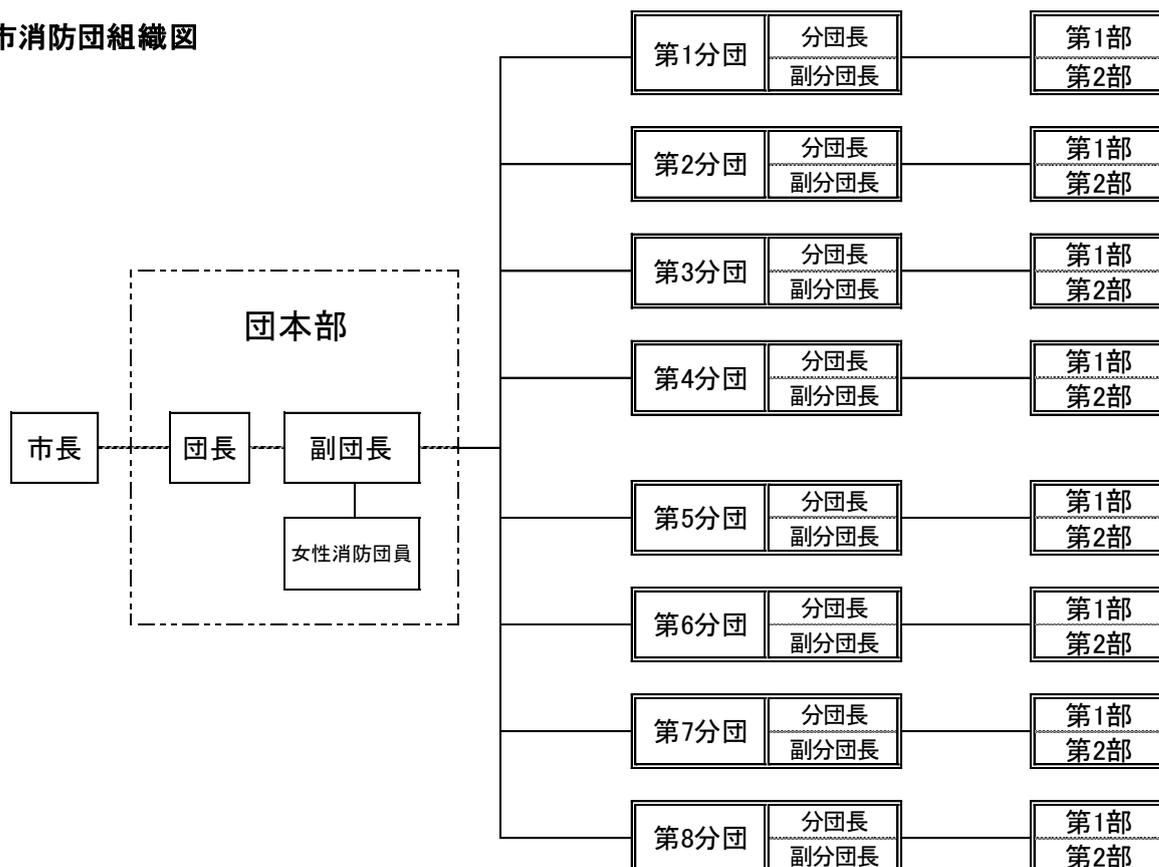
代	氏名	在職期間		
		開始	～	終了
初代	佐田 徳一	昭和23年12月25日	～	昭和30年10月30日
二代	吉田 幸市	昭和30年11月3日	～	昭和42年11月2日
三代	永松 貞義	昭和42年11月31日	～	昭和58年11月30日
四代	田渕 文男	昭和58年12月1日	～	昭和62年11月30日
五代	能間 茂	昭和62年12月1日	～	平成7年11月30日
六代	久田 十三郎	平成7年12月1日	～	平成8年11月9日
七代	山本 節雄	平成8年11月18日	～	平成15年6月30日
八代	則松 秀	平成15年7月15日	～	平成23年4月30日
九代	西田 博美	平成23年5月12日	～	平成27年3月31日
十代	矢野 富士雄	平成27年4月1日	～	平成31年3月31日
十一代	鬼武 雅仁	平成31年4月1日	～	在職中

## 直方市消防団幹部名

(平成31年4月1日現在)

階級	氏名	任期(4年)
団長	鬼武 雅仁	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日
副団長	原 幸洋 中岡 義則	

## 直方市消防団組織図



### 消防団員入団・退団・昇任状況

平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日			平成 31 年 4 月 1 日現在 ※うち( )は女性数		
入 団	退 団	昇 任	団 員 数	就 業 形 態	
13 人	17 人	18 人	240(8)人	被用者 134 (5)人	被用者以外 106 (3)人

### 消防団員の数 (条例定数 285 人)

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

所属	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本 部	1	2			1(女性団員)	2(女性団員)	5(女性団員)	11
1 分団	1 部			1	1	3	9	14
	2 部		1		1	3	9	14
2 分団	1 部			1	1	3	8	13
	2 部		1		1	3	12	17
3 分団	1 部			1	1	3	11	16
	2 部		1		1	3	7	12
4 分団	1 部			1	1	3	8	13
	2 部		1		1	3	10	15
5 分団	1 部			1	1	3	8	13
	2 部		1		1	3	11	16
6 分団	1 部		1		1	3	13	18
	2 部			1	1	3	8	13
7 分団	1 部		1		1	3	9	14
	2 部			1	1	3	8	13
8 分団	1 部		1		1	3	7	12
	2 部			1	1	3	11	16
計	1	2	8	8	17	50	154	240

### 消防団員の年齢

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18～20							5	5
21～25							11	11
26～30							17	17
31～35						5	34	39
36～40					2	8	33	43
41～45				2	5	13	24	44
46～50		1	1	1	1	10	13	27
51～55			2		3	5	6	16
56～60			3	2	4	5	9	23
61～65	1	1	1	2	1	4	2	12
66 以上			1	1	1			3
計	1	2	8	8	17	50	154	240

平均年齢 41.3 歳

### 平成 30 年度消防団員の教育・訓練・研修

区分	教育場所	教育種別	人員
基礎教育	福岡県消防学校	基礎教育科	7
幹部教育	福岡県消防学校	指揮幹部科 第3回分団指揮課程	3
特別教育	福岡県消防学校	消防操法研修	2
その他	滋賀県	第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会	5
	直方市消防本部 (庁舎前河川敷駐車場)	消防団規律訓練	113
	直方市消防本部	安全管理セミナー	54
	直方市消防本部 (庁舎前河川敷駐車場)	消防団中継放水訓練	56
	福岡市民会館	第8回福岡県女性団員研修会	4

### 平成 30 年度消防団員の表彰

区分	消防庁長官	福岡県知事	(一財)日本消防協会	(一財)福岡県消防協会	市長
永年勤続功労章					
功績章					
精績章			1人		
勤続章		5人	3人	23人	
優良団員				10人	
退職団員					3人
地域無火災分団部 (地域の広報及び防災活動に尽力)				1部	14部

消防団自動車配置状況

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

所属	種別	車名	排気量 (cc)	年式 (年)	ポンプ名	備考
本 部	広報車	ホンダ	1490	2004	—	
	多機能車	いすゞ	2990	2008	B2 級	
1 分団 1 部	CD-I 型	いすゞ	4770	2003	A2 級	
1 分団 2 部		いすゞ	4570	2001		
2 分団 1 部		トヨタ	4000	2017		
2 分団 2 部		トヨタ	4000	2015		
3 分団 1 部		トヨタ	4000	2017		
3 分団 2 部		いすゞ	4570	2000		
4 分団 1 部		三 菱	5240	2003		
4 分団 2 部		いすゞ	4770	2005		
5 分団 1 部		いすゞ	4570	2001		
5 分団 2 部		トヨタ	4000	2018		
6 分団 1 部		いすゞ	4570	1998		
6 分団 2 部		いすゞ	4770	2006		
7 分団 1 部		トヨタ	4000	2016		
7 分団 2 部		トヨタ	4000	2012		
8 分団 1 部		いすゞ	4570	2000		
8 分団 2 部		いすゞ	4770	2006		

消防団協力事業所表示制度【平成 27 年 4 月 運用開始】

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

	事業所名	協力内容
1	株式会社フタバ九州 直方工場	従業員等が消防団員として 4 名以上入団しています。
2	株式会社 創信	火災、自然災害時(地震、風水害等)における工事車両、工事機械等 等が無償で提供し、協力します。
3	興栄建設株式会社	火災、自然災害時(地震、風水害等)における工事車両、工事機械等 等が無償で提供し、協力します。
4	たくみ(株)たくみ苑	従業員等が消防団員として 3 名以上入団しています。

## 直方市消防団応援の店制度【平成29年2月 運用開始】

「直方市消防団応援の店」とは、消防団員の確保及び地域防災力の向上を目的として、市内の事業所、店舗等に協力を得て、消防団員及びその家族等に一定のサービスを提供して直方市消防団を応援するものです。

(登録数:平成31年4月1日現在)

番号	店舗名	住所	番号	店舗名	住所
1	(有)筑前屋 筑前屋産業(株)	直方市新知町2-1	19	すずらん人形のわたなべ	直方市古町5-35
2	アメリカン雑貨とカフェの店 LAX	直方市感田2803-4	20	宝石 時計のココラヤ	直方市古町4-22
3	からあげ&カレー焼き 次元	直方市古町3-2	21	菓子工房 irotoridori	直方市植木696-1
4	こなやきつ廣 直方本店	直方市知古771-9	22	メガネのたつや	直方市須崎町2-16
5	こなやきつ廣 感田店	直方市感田1204-3	23	直の揚一番 からあげ きぬ	直方市須崎町2-28
6	お好み焼きTOMO	直方市津田町2-10	24	コアハウス明治町通り	直方市古町1-17
7	ランチバイキング 菜菜	直方市感田461	25	古森酒店	直方市下境2128
8	ダイニング CHICOchico	直方市知古9-3	26	ダスキン直方	直方市頓野3908-6
9	帽子カバン ノナカ	直方市古町10-10	27	きぬ食堂	直方市須崎町2-28
10	門司酒店	直方市須崎町14-2	28	株式会社 コンドウ	直方市新町1丁目5番24号
11	テルミ美容室	直方市古町17-7	29	ライジング迎賓館	直方市古町17-14
12	丸窓	直方市日吉町13-1	30	スナック 岡田	直方市古町1-14 銀座会館1F
13	auショップ 直方新入店	直方市下新入548-6	31	スナック れいか	直方市古町1-14
14	やきとり茂蔵	直方市古町1-9	32	カクテルスナック テル	直方市古町13-30
15	ぐりーんぐらす	直方市古町16-9	33	スナック with	直方市古町16-9
16	和整骨院 直方院	直方市古町17-2	34	sweet spot SEED	直方市古町15-20
17	旅ランド	直方市古町4番9号	35	牛若寿司	直方市古町1-6
18	カネシロ (有)白石雑貨	直方市古町6-6	36	リキ法律事務所	直方市須崎町3番37号 竹田ビル6階25



# 予防編



春の火災予防週間に伴う防火査察



## 危険物数量別施設状況

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区分	貯蔵所						取扱所				計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
								1種	2種		
計	32	25	2	23	25	5	23	0	3	19	157
5倍以下のもの (A)	21	5	2	13	22	1	1			6	71
5倍を超え 10倍以下のもの (B)	4	9		2		4				11	30
10倍を超え 50倍以下のもの (C)	6	4		8	1		3		3	2	27
50倍を超え 100倍以下のもの (D)	1	1			2		2				6
100倍を超え 150倍以下のもの (E)		3					3				6
150倍を超え 200倍以下のもの (F)		1					4				5
200倍を超え 1000倍以下のもの (G)		2					10				12
1000倍を 超えるもの (H)											0

## 危険物施設の保安監督者選任施設及び予防規程認可施設状況

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

区分	貯蔵所						取扱所				計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
								1種	2種		
保安監督者	29	25	0	1		0	23	0	3	7	88
予防規程	0	2				0	18			2	22

## 危険物施設の査察状況

(平成 30 年度中)

区分	貯蔵所						取扱所				少量等	計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般		
								1種	2種			
査察数	10	5	0	1	0	1	1	0	0	11	48	77

## 危険物施設別の許可、完成及び廃止状況

(平成 30 年度中)

区分 種別	貯蔵所						取扱所				計
	屋内	屋外 タンク	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	屋外	給油	販売		一般	
								1種	2種		
設置	許可	2									2
	完成										0
変更	許可						2			1	3
	完成			1			2			3	6
廃止	2									1	3

## 危険物規制事務月別処理件数

(平成 30 年度中)

種別		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
許 認 可	設置許可		1										1	2
	変更許可		1		1		1							3
	設置完成検査		3			1	1							5
	変更完成検査													0
	完成検査前検査													0
	仮使用承認				1		1							2
	予防規程													0
小計		0	5	0	2	1	3	0	0	0	0	0	1	12
届 出 等	譲渡引渡届													0
	品名数量倍数変更届出書	1	1	1	2						1			6
	廃止届						1	1	1					3
	保安監督者選解任届	1	1	1			5		1					9
	資料提出書	1				2	4	4	1	3				15
	記載事項変更届	2	1	3	2			2						10
	使用休止再開届													0
	災害発生届													0
	完成検査済証等再交付													0
	許可証等再交付													0
	圧縮アセチレンガス等届	1	19	7			6				1			34
	少量危険物等届			1			2			1				4
	少量危険物等廃止届			3		1			1	1				6
	少量危険物等変更届							1	3	2			1	7
少量タンク水張り検査申請													0	
小計		6	22	16	4	3	18	8	7	7	2	0	1	94
合計		6	27	16	6	4	21	8	7	7	2	0	2	106

## 幼年消防クラブ

幼年期から正しい防火の知識を身につけ、各種活動を通して自主協調の精神を養うことを目的として、幼稚園・保育園単位で結成された地域に根ざした活動を行っています。

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

クラブ名	クラブ名
大和幼稚園幼年消防クラブ	直方市立植木保育園幼年消防クラブ
下境幼稚園幼年消防クラブ	萬福寺さくら保育園幼年消防クラブ
西徳寺幼稚園幼年消防クラブ	丸山保育園幼年消防クラブ
頓野幼稚園幼年消防クラブ	新生第一保育園幼年消防クラブ
新入幼稚園幼年消防クラブ	新生第二保育園幼年消防クラブ
ホッポ保育園幼年消防クラブ	感田保育園幼年消防クラブ
おんがの保育園幼年消防クラブ	浄福寺幼稚園幼年消防クラブ
直方市立中央保育園幼年消防クラブ	若草保育園幼年消防クラブ
新入ひまわりこども園幼年消防クラブ	直方セントポール幼稚園幼年消防クラブ
西徳寺保育園幼年消防クラブ	下境保育園幼年消防クラブ
浄蓮寺保育園幼年消防クラブ	清光寺幼稚園幼年消防クラブ

防火対象物の現況

(平成30年度中)

用途		区分	防火対象物数	事業所数	査察件数
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1	1	
	ロ	公会堂・集会場	20	14	
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
(3)	イ	待合・料理店等	2	2	
	ロ	飲食店	40	46	
(4)		百貨店・マーケット等	135	133	6
(5)	イ	旅館・ホテル等	11	5	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	440	301	
(6)	イ	病院・診療所・助産所	55	52	5
	ロ	老人短期入所施設等	45	36	34
	ハ	老人デイサービスセンター等	74	64	62
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	21	10	
(7)		小学校・中学校等	105	31	
(8)		図書館・博物館・美術館等	3	2	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	
	ロ	イ以外の公衆浴場等			
(10)		車両の停車場等	1	1	
(11)		神社・寺院・協会等	60	42	
(12)	イ	工場・作業場	457	303	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	48	25	
	ロ	飛行機等の格納庫			
(14)		倉庫	208	112	1
(15)		前各項に該当しない事業場	328	256	
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	233	230	19
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	107	96	
(16の2)		地下街			
(16の3)		準地下街			
(17)		重要文化財等	4	1	
(18)		アーケード	4	4	
(19)		市町村長の指定する山林			
(20)		総務省令で定める舟車			
合 計			2,412	1,777	127

建築同意事務処理件数

(平成30年度中)

用途		区分	新築	増築	その他	計	
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等					
	ロ	公会堂・集会場					
(2)	イ	キャバレー・カフェー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール					
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
(3)	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店		1		1	
(4)		百貨店・マーケット等		4		4	
(5)	イ	旅館・ホテル等					
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		4		4	
(6)	イ	病院・診療所・助産所					
	ロ	老人短期入所施設等		4	3	7	
	ハ	老人デイサービスセンター等		3		3	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校			1	1	
(7)		小学校・中学校等					
(8)		図書館・博物館・美術館等					
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場等					
(10)		車両の停車場等					
(11)		神社・寺院・教会等		1		1	
(12)	イ	工場・作業場		9	3	12	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ					
(13)	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機等の格納庫					
(14)		倉庫		2	2	4	
(15)		前各項に該当しない事業場		14	1	3	18
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)		1			1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1			1
(17)		重要文化財等					
(18)		アーケード					
専用住宅等				24	2		26
合計				68	12	3	83

防火管理者を必要とする事業所状況

(平成31年4月1日現在)

用途	区分	事業所数	防火管理者の必要な事業所		
			甲種	乙種	計
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1		1
	ロ	公会堂・集会場	14	12	12
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	7	7
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1
(3)	イ	待合・料理店等	2	1	1
	ロ	飲食店	46	10	22
(4)		百貨店・マーケット等	133	64	22
(5)	イ	旅館・ホテル等	5	4	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	301	31	1
(6)	イ	病院・診療所・助産所		13	
	ロ	老人短期入所施設等	36	28	
	ハ	老人デイサービスセンター等	64	28	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	10	8	1
(7)		小学校・中学校等	31	26	2
(8)		図書館・博物館・美術館等	2	2	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場等			
(10)		車両の停車場等	1		4
(11)		神社・寺院・教会等	42	19	1
(12)	イ	工場・作業場	303	32	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	25		
	ロ	飛行機等の格納庫			
(14)		倉庫	112	1	
(15)		前各項に該当しない事業場	256	34	8
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	230	85	17
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	96	10	1
(16の2)		地下街			
(16の3)		準地下街			
(17)		重要文化財等	1	1	
		合計	1,721	418	82

消防用設備等の設置状況

(平成31年4月1日現在)

用途		区分	消火設備				警報設備		避難設備		連結送水管
			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧等消火設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	非常警報設備	避難器具	誘導灯	
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等	1				1	1		1	
	ロ	公会堂・集会場	3				17	17	3	20	
(2)	イ	キャバレー・カフェー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	3				7	7	2	8	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等					1	1		1	
(3)	イ	待合・料理店等					1			2	
	ロ	飲食店					7	17	4	44	
(4)		百貨店・マーケット等	3	6	3	4	65	31		101	
(5)	イ	旅館・ホテル等	3				11	5	4	11	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1		3		49	14	23	5	15
(6)	イ	病院・診療所・助産所	1	7			35	18	6	54	2
	ロ	老人短期入所施設等	1	42	1		51	11	11	42	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	3			47	6	2	75	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3	1			15	8	3	20	
(7)		小学校・中学校等	26				81	49	10	13	1
(8)		図書館・博物館・美術館等					3			1	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					1			1	
	ロ	イ以外の公衆浴場等									
(10)		車両の停車場等									
(11)		神社・寺院・教会等					6	21	2	6	
(12)	イ	工場・作業場		1	8	37	175	5	1	22	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	51								
(13)	イ	自動車車庫・駐車場			5		7	1		3	
	ロ	飛行機等の格納庫									
(14)		倉庫			1		61	2		17	
(15)		前各項に該当しない事業場	11		8	9	52	28	8	48	1
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	13	6	3	3	71	38	26	127	3
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	5				6	6	7	8	3
(16の2)		地下街	1								
(16の3)		準地下街									
(17)		重要文化財等					1	1			
(18)		アーケード						2			4
(19)		市町村長の指定する山林									
(20)		総務省令で定める舟車									
合計			128	66	32	53	771	289	112	630	32

中高層建築物の現況

(平成31年4月1日現在)

用途		階数													計	
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場等														
	ロ	公会堂・集会場														
(2)	イ	キャバレー・カフェー等														
	ロ	遊技場・ダンスホール														
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
(3)	イ	待合・料理店等														
	ロ	飲食店														
(4)		百貨店・マーケット等	1		1											2
(5)	イ	旅館・ホテル等	3		3											6
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	67	5	1	4	1	3	2	1			1			85
(6)	イ	病院・診療所・助産所		1	2											3
	ロ	老人短期入所施設等	1	2												3
	ハ	老人デイサービスセンター等	1													1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1													1
(7)		小学校・中学校等														
(8)		図書館・博物館・美術館等														
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場等														
	ロ	イ以外の公衆浴場等														
(10)		車両の停車場等														
(11)		神社・寺院・教会等														
(12)	イ	工場・作業場														
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ														
(13)	イ	自動車車庫・駐車場														
	ロ	飛行機等の格納庫														
(14)		倉庫														
(15)		前各項に該当しない事業場	6			1	1									8
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定)	7	6		2										15
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			1	2										3
合 計			87	14	8	9	2	3	2	1	0	1	0		127	



# 警防編



～平成31年更新～ 「消防2号車」【化学消防ポンプ自動車Ⅱ型】

(注) 災害統計については、「平成30年火災・救急・救助」(ホームページ掲載)をご覧ください。

なお、本冊子最後部に各種概況を添付しています。



消防本部(署)保有車両一覧表

(平成31年4月1日現在)

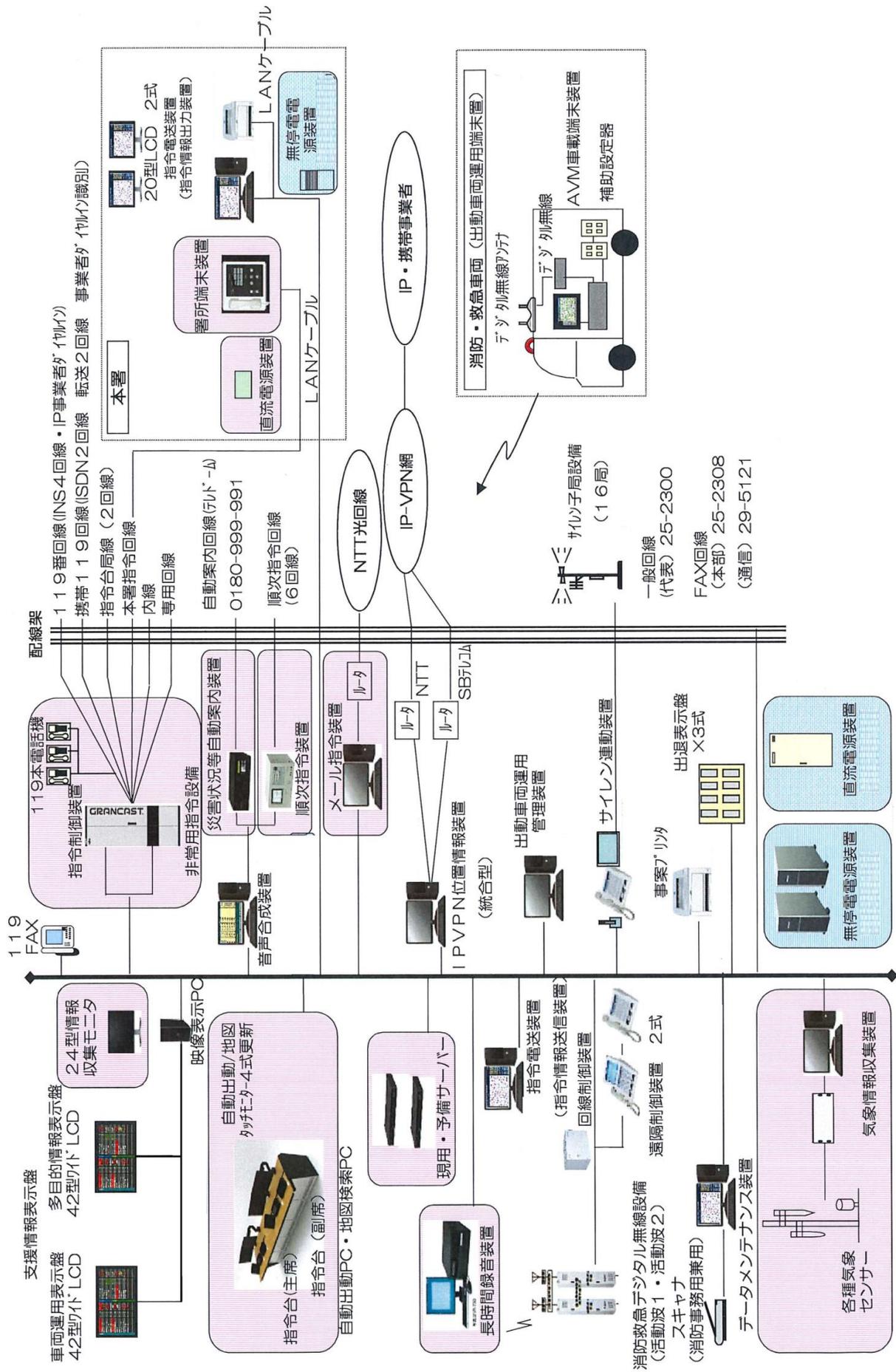
呼称	種別	車名	排気量 (cc)	年式	ポンプ名	更新年度	配置又は 登録年月日	備考
直消1	タンク車 (定員6人)	日野	7,961	2000	A2級	11年度	H12.1.27	I-B型・積水量1.5t
直消2	化学車 (定員6人)	日野	5,120	2018	A2級	30年度	H31.1.28	II型・積水量1.5t 消火原液0.5t
直消3	ポンプ車 (定員5人)	日野	4,000	2016	A2級	28年度	H28.11.21	CD-I型・フォームプロ 積水量0.6t 動力ホースカー付
直消4	指揮車 (定員6人)	トヨタ	1,990	1997	-	8年度	H9.3.18	車体ベース:ハイエース
直消5	水槽車 (定員3人)	日野	7,960	2002	B3級	13年度	H14.2.28	I型・積水量5t 小型動力ポンプ付
直消6	救助工作車 (四輪駆動・定員6人)	日野	6,400	2006	-	18年度	H18.10.17	II型・ウインチ、クレーン 発電照明 超高圧油圧発生 超高圧噴霧消火の各装置
直消8	はしご車 (30m級・定員6人)	日野	20,781	1999	-	10年度	H11.2.16	20年度オーバーホール 27年度オーバーホール
直消9	輸送車 (定員6人)	トヨタ	2,980	2010	-	22年度	H23.1.31	積載量1t
直消10	査察車 (定員5人)	日産	1,990	2014	-	26年度	H26.12.12	4WD、SUV
資機材 搬送車	資機材搬送車 (定員3人)	三菱	5,240	2004	-	16年度	H16.7.28	積載量3t
直消救1	救急1号車 (定員7人)	トヨタ	2,693	2010	-	22年度	H22.7.15	高規格車両 車体ベース:ハイエース
直消救2	救急2号車 (定員7人)	トヨタ	2,693	2009	-	21年度	H21.12.15	高規格車両 車体ベース:ハイエース
直消救3	救急3号車 (定員7人)	トヨタ	2,693	2016	-	27年度	H28.1.14	高規格車両 車体ベース:ハイエース
救急 予備車	旧救急3号車 (定員7人)	トヨタ	3,370	2006	-	17年度	H18.2.19	高規格車両 車体ベース:ハイエース
連絡車	連絡車 (定員2~4人)	ニッサン	650	2009	-	21年度	H21.12.24	積載量350kg 1BOXタイプ

現有防災用資機材

区 分		保有数
救助器具	油 圧 ジ ャ ッ キ	4
	可 搬 ウ イ ン チ	2
	チェ ー ン ブ ロ ッ ク	2
	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	2
	マン ホ ー ル 救 助 器 具	1
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	1
	救 助 用 支 柱 器 具	1
	か ぎ 付 き 梯 子	1
	ワ イ ヤ ー 梯 子	1
	救 命 索 発 射 銃	1
	三 連 梯 子	3
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	2
	サ バ イ バ ー ス リ ン グ	7
	油 圧 切 断 機	4
	ガ ス 溶 断 機	1
	鉄 線 カ ッ タ ー	3
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	3
	チェ ー ン ソ ー	2
	空 気 鋸	1
	万 能 斧	9
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	1
	ハ ン マ ー ド リ ル	1
	ハ ン マ ー	3
	削 岩 機	1
	登 山 器 具	1
	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	2
	水難救助器具	潜 水 器 具
水 中 投 光 器		7
船 外 機		4

区 分		保有数	
水難救助器具	水 中 無 線 機	1	
	救 命 胴 衣	22	
	救 命 浮 環	5	
	救 命 ボ ー ト	5	
保安器具	空 気 呼 吸 器	42	
	防 塵 マ ス ク	3	
	エ ア ラ イ ン マ ス ク	1	
	空 気 補 充 用 ボ ン ベ	55	
	耐 電 手 袋	6	
	耐 電 ズ ボ ン	5	
	防 塵 メ ガ ネ	39	
	防 毒 マ ス ク	5	
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	3	
	耐 電 衣	5	
	耐 電 長 靴	7	
	携 帯 警 報 器	1	
	耐 熱 服	4	
	その他の器具	投 光 器	5
		携 帯 拡 声 器	12
		応 急 処 置 セ ッ ト	3
緩 降 器		2	
携 帯 投 光 器		6	
送 排 風 機		4	
発 電 機		10	
有 毒 ガ ス 測 定 器		1	
放 射 線 測 定 器		7	
可 燃 性 ガ ス 測 定 器		1	
酸 素 濃 度 測 定 器		1	
携 帯 無 線 器		45	
簡 易 熱 画 像 カ メ ラ		2	

# 消防通信指令管制システム構成概念図



**警戒警備に関する事項**

(平成30年中)

種 別	期 間	延人員
のおがた夏まつり 花火大会消防特別警戒	8月6日	15人
歳末消防特別警戒	12月25日～31日	21人
計		36人

**罹災届及び罹災証明願処理に関する事項**

(平成30年中)

種 別	件 数
罹災・被災届出件数	火災(6) 風水害(27) その他(1) 計34件
罹災・被災証明願件数	火災(5) 風水害(16) その他(0) 計21件
罹災・被災届出証明願件数	火災(0) 風水害(11) その他(1) 計12件

**消防水利の現況**

(平成31年4月1日現在)

水利 種別	計	公設 消火栓	公設 防火 水槽	指定 水利	その他の水利		
					プール	池	井戸
計	1,576	1,242	269	43	17	3	2



# 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練活動状況

訓練会場	鹿児島県志布志市
日時	平成30年11月10日、11日(2日間)
派遣人数	4人(後方支援員1人含む。)
派遣隊	救急隊

## 合同訓練会場



## 待機場所テント



## 派遣車両(救急車3号車)



## 訓練に関する事項

種 別	回 数	延人員
消防救助技術指導会訓練	64回	606人
月間救助(救助・水難)訓練	13回	211人
救 助 訓 練	11回	63人
水 難 訓 練	6回	54人
消 防 基 礎 訓 練	37回	133人

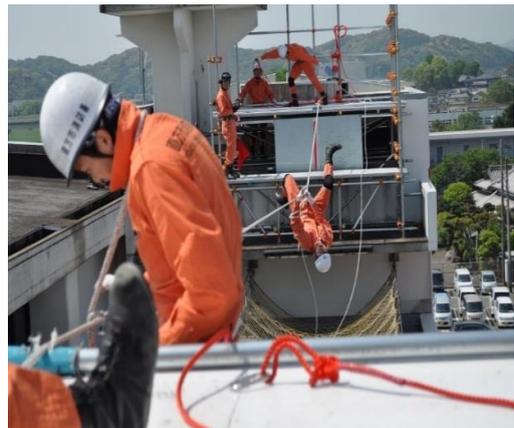
### 他本部との合同訓練

日 時	場 所	訓練名	派遣人数
12月21日	福 智 山 周 辺	北九州市消防局山岳救助合同訓練	6人

### 月間救助訓練



### 消防救助技術指導会訓練



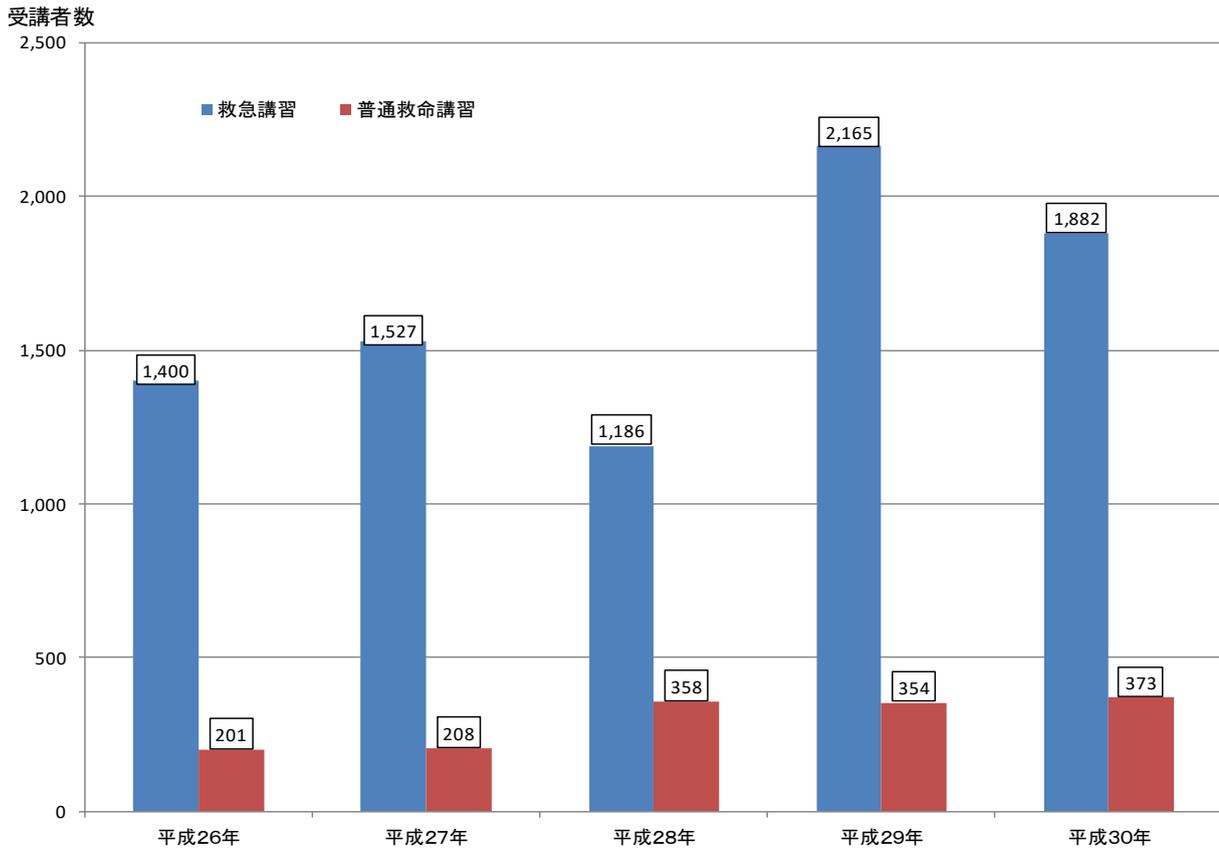
### 水難訓練



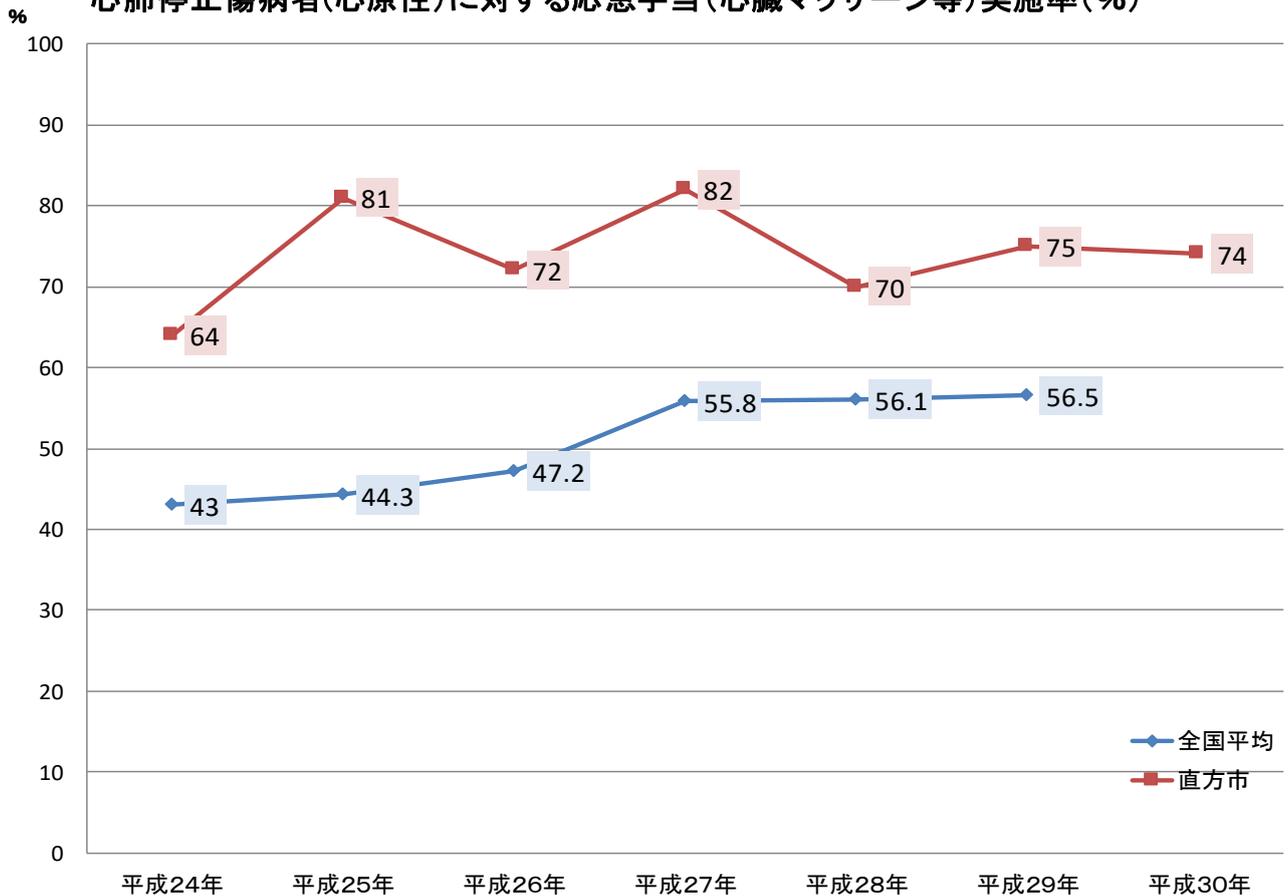
### 文化財防火デー



## 直方市の救急講習・普通救命講習受講者数



## 心肺停止傷病者(心原性)に対する応急手当(心臓マッサージ等)実施率(%)



## 救急安心カードの推進及び利用状況

直方市では、平成21年より『救急安心カード』の利用を呼びかけています。

『救急安心カード』とは…

「救急車を要請した際、一人暮らしで救急隊到着前に意識がなくなったとき、家族が慌てて思い出せないときなどでも、駆けつけた救急隊員に必要な情報を的確に伝えることを目的としています。」

救急隊は、受入れ先の病院へ急病やけがをした人の容態を伝える必要があり、名前や生年月日をはじめ治療中の病気などを聴取します。一人暮らしで思うように情報が伝えられない場合や、家族が慌てて思い出せない場合でも、あらかじめこの『救急安心カード』に記入し、救急隊に渡してもらえれば的確に状況を伝えることができます。

家族のため、自身のためにも『救急安心カード』を記入し、目につきやすいところに常備しておきましょう。冷蔵庫は、どの家庭にもあり地震等でも壊れにくく丈夫ですので、前面にマグネット等で貼っておく方法をお勧めします。

※ 『救急安心カード』は、多くの個人情報に記載されますので、カードへの記入利用は、あくまでも任意です。

※ 次ページに『救急安心カード』の原本を添付します。

# 救急安心カード



もし救急車を呼ぶような時にこのカードを持っていれば安心です!! 救急隊は病院へ患者の名前、持病、常用薬などの情報を伝えなければなりません。あらかじめこのカードに記入していれば的確に情報を伝えることができるので安心です。

【お問い合わせ先】直方市消防本部 警防課救急係 (☎ 0949-25-2303)

## 記入例

記入年月日 平成 21 年 11 月 9 日	
ふりがな 氏名	のおがた たらう 直方太郎 (男・女)
生年月日	明・大・昭・平 20 年 11 月 9 日 血液型 A 型
住所	直方市新町二丁目5番10号 電話 0949-25-2300
持病(病院)	高血圧(直方市立病院)、狭心症(筑豊医院)
常用薬	降圧剤、糖尿病薬、喘息の薬
アレルギー	あり ( 特定の薬名、卵、そば、小麦など ) ・ なし
手術歴	平成15年 心臓バイパス手術
その他 (伝えたいこと)	

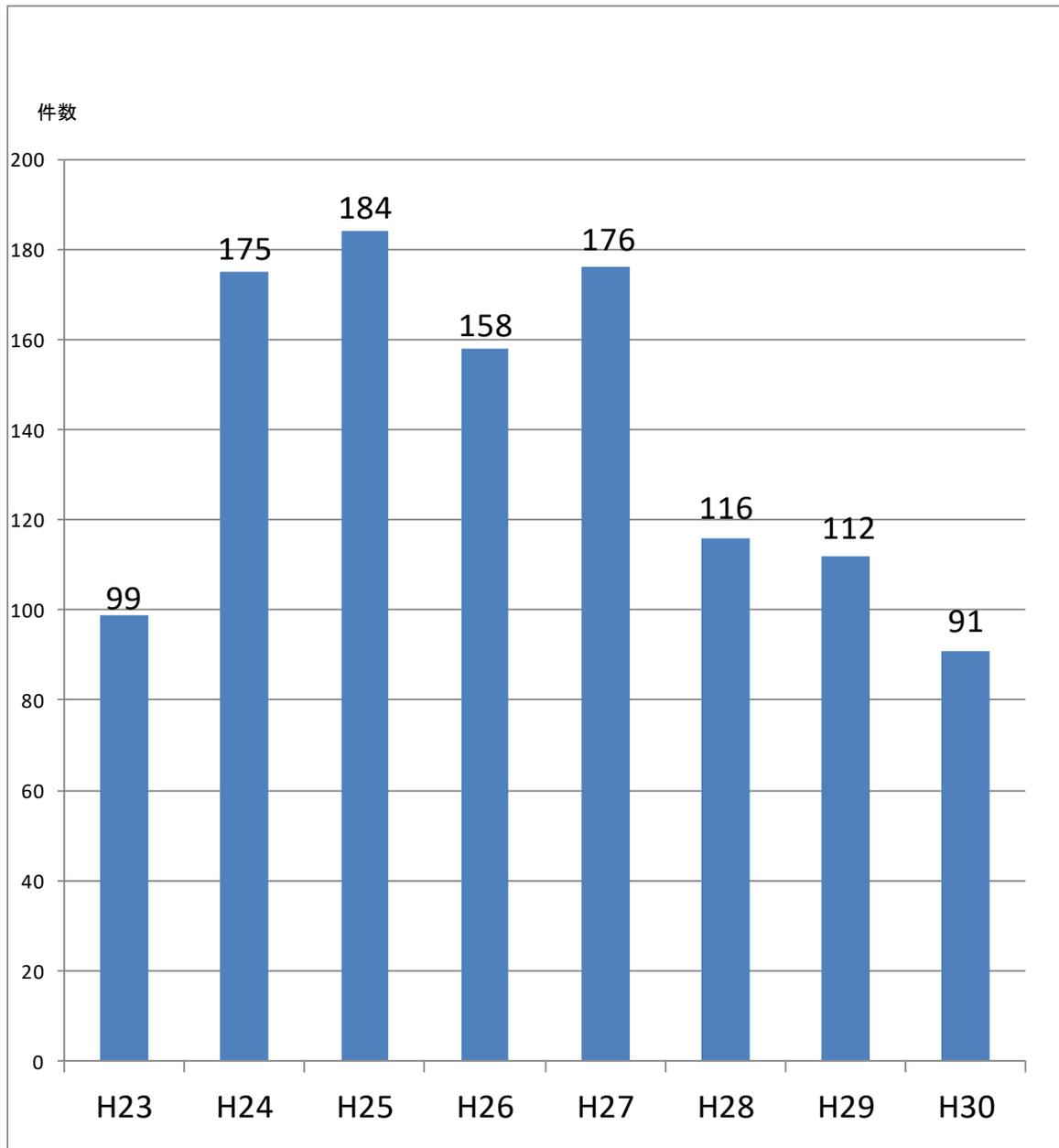
記入年月日 平成 年 月 日	
ふり がな <b>氏 名</b> _____ ( 男 ・ 女 )	
生年月日 明 ・ 大 ・ 昭 ・ 平 年 月 日 血液型 型	
<b>住 所</b> _____ <b>電 話</b> _____	
<b>持病(病院)</b>	
<b>常用薬</b>	
<b>アレルギー</b>	あり ( _____ ) ・ なし
<b>手術歴</b>	
<b>その他</b> (伝えたいこと)	

記入年月日 平成 年 月 日	
ふり がな <b>氏 名</b> _____ ( 男 ・ 女 )	
生年月日 明 ・ 大 ・ 昭 ・ 平 年 月 日 血液型 型	
<b>住 所</b> _____ <b>電 話</b> _____	
<b>持病(病院)</b>	
<b>常用薬</b>	
<b>アレルギー</b>	あり ( _____ ) ・ なし
<b>手術歴</b>	
<b>その他</b> (伝えたいこと)	

<b>緊急連絡先</b>	①氏名 _____ (続柄 _____) ☎ _____ - _____
	②氏名 _____ (続柄 _____) ☎ _____ - _____

※このカードに記入された個人情報は、救急業務以外には使用することはありません。

## 救急安心カード年別利用件数



### 救急安心カード配布

○直方市消防本部において配布しています。

○直方市のホームページからダウンロードすることができます。

## 直方市AED設置施設登録制度推進事業(平成28年4月1日施行)

直方市では、市民の生命を守り、安全・安心なまちづくりを推進するため、AED(自動体外式除細動器)設置場所の周知や集客施設等への普及促進を図ることを目的に、AED設置施設の登録制度を設けています。

「直方市AED設置施設登録制度推進事業」は、市内145(令和元年8月1日現在)のAED設置事業所(公共施設、病院、老健施設等)を登録、直方市ホームページに公開し、市民の方に設置場所を周知するとともに、突発的な心肺停止時に近くのAEDを利用して、迅速な救命処置を行えるようAEDを貸出しています。

また、この事業により一人でも多くの尊い命を守るため、AEDの取り扱い、心肺蘇生法の講習等の推進を行っています。

【施設の入口など市民や利用者の見えやすい場所に「表示証」を掲示】



直方市AED設置施設登録事業所

事業所の名称	所在地	事業所の名称	所在地
直方病院	須崎町1-1	あかま歯科クリニック	感田1887-13
高山病院	下境3910番地50	ライフデンタルクリニック	下境2586-1
直方中村病院	頓野993-1	山名眼科診療所	津田町11-27
福岡ゆたか中央病院	感田523-5	西村眼科クリニック	津田町1-28
武田医院	古町16-3	はやし眼科	頓野3870-1
田代医院	溝掘3丁目5-41	萬福寺さくら保育園	上頓野1435-1
直方診療所	山部504	新生第一保育園	感田3179-2
直方鞍手医師会	山部808-13	浄蓮寺保育園	永満寺1035
菅原内科呼吸器科医院	頓野2104-31	感田保育園	感田2651-1
高橋医院	上新入1980	直方市立中央保育園	知古1丁目7-16
栗原小児科内科クリニック	神正町3-29	植木保育園	植木1099番地
戸田医院	中泉401	若草保育園	下境3075
かつき脳外科整形外科	感田415	新入幼稚園	下新入1571-2
かわじり内科医院	湯野原2-8-4	西徳寺幼稚園	山部553-1
あざかみこどもクリニック	頓野3815-1	下境幼稚園	下境2134-5
前田歯科	須崎町14-19	大和幼稚園	頓野3808-1
わたなべ歯科医院	頓野1870-9	直方市立福地小学校	永満寺2427
のぞみ歯科直方	湯野原2丁目1-1 イオンモール直方1階	直方市立北小学校	日吉町7-1

直方市AED設置施設登録事業所

事業所の名称	所在地	事業所の名称	所在地
直方市立南小学校	新町3丁目3-55	丹頂園	上頓野2135
直方市立東小学校	頓野2095-1	総合ケアセンター	感田1842-12
直方市立第二中学校	頓野4082	すこやか	頓野975
直方市立第三中学校	知古960	平和の里 オアシス	頓野1918-1
直方市立第一中学校	下境1892番地1	ベルの郷 ANNEX	感田1775-7
直方市立西小学校	山部666	ひなたの心	上境2661-2
直方市立新入小学校	上新入2081	デイサービスセンターめぐみ	頓野408-3
直方市立植木中学校	植木261-2	たくみ苑	植木595番地
直方市立上頓野小学校	上頓野2510	泰山木	頓野993-11
直方市立感田小学校	感田1160	百寿の里	上新入2116-7
福岡県立直方高校	頓野3459-2	ケアハウスめぐみ	頓野446-3
大和青藍高等学校	日吉町10-12	グループホームめぐみ	頓野437-5
中小企業大学校 直方校	永満寺1463-2	グリーンコープ デイサービスセンター直方	感田169-10
鷹取学園	下境336-11	直方市役所	殿町7-1
サンシルバー直方	永満寺1347	直方市体育館	直方674-25
多機能型施設えいる	上境2298	直方市西部運動公園	上新入2430-1
すみの苑	知古1408-5	直方歳時館	新町1丁目1-18
福智の杜	頓野1213-1	直方市中央隣保館	下境2014-1

直方市AED設置施設登録事業所

事業所の名称	所在地	事業所の名称	所在地
直方市中央公民館	津田町7-20	九州日野自動車(株) 筑豊支店	感田561-1
直方市環境業務課	知古21-1	直方商工会議所	殿町7-50
直方市石炭記念館	直方692-4	福岡銀行直方支店	須崎町17-12
直方市民体育センター	山部599-2	九州労働金庫直方支店	知古1丁目3番3号
直方市可燃物中継所	下新入1923-1	メッカXP	頓野3229-1
直方市立図書館	山部301-11	ダイナム信頼の森 福岡直方店	上新入1862番地1
直方警察署	殿町5-31	直方いこいの村	畑686
福岡地方裁判所直方支部	丸山町1-4	直方スイミングスクール 野上アクアメツ スポーツクラブ	頓野3868
直方税務署	殿町9-10	植木桜つつみ公園 パークゴルフ場	植木4137-1
ユメニティのおがた	山部364-4	西日本カントリークラブ	中泉1356-2
福岡県嘉穂・鞍手保健福祉 環境事務所	日吉町9-10	(株)ケイ・イー・エス	中泉885-14
福岡県教育庁 北九州教育事務所	植木1047-1	EVO直方店	下境427-10
直方歯科医師会	山部759-1	九州住友ベークライト 株式会社	上境40-1
日本年金機構 直方年金事務所	知古1丁目8-1	直方工業団地(株) 石橋製作所	上頓野4636-15
(株)直方自動車学校	赤地1番地	豊前東芝 エレクトロニクス(株) 直方事業所	上新入1891-1
南九イリヨー(株) 北九州工場	知古712-4	大谷鉄工(株)	上新入1677-20
田底鉄工所	永満寺2819-2	直方市美術館	殿町10-35
福智山ろくメモリアルパーク	永満寺854	イオン直方店	湯野原2丁目1-1

直方市AED設置施設登録事業所

事業所の名称	所在地	事業所の名称	所在地
健康福祉課別館	津田町7-20	養護老人ホーム 芳寿園	下境1794番地
地域子育て支援センター (休止中)	感田3601	藤田歯科	新町2丁目6番36号
植木学童クラブA	植木3207	くらの里家	須崎町6番3号
グループなごみ直方	植木1534番1	まつき歯科医院	津田町8番24号
福岡法務局直方支局	新町2丁目1-24	魚住内科胃腸科医院	頓野1919番地4
植木ひかり苑	植木1932-5	株式会社 山公地産	頓野3813番地1
(株)ホンダカーズ 北九州直方北店	下新入552-6	遠賀川中流浄化センター	植木4054番地2
株式会社 九電工 直方営業所	頓野1938-1	浅田鉄工(株)	上新入1677番地8
直方労働基準監督署	殿町9番17号	(株)サンリブ サンリブのおがた	知古756番地
直方市民球場	直方671-2	(株)サニクリーン九州直方営業所	下新入2487番地6
中泉市民球場	中泉1015	さとう愛内科クリニック	感田2154番地1
五月園デイサービスセンター	下新入2593-8	青見胃腸・内視鏡内科 クリニック	上新入2490番地7
直方市立植木小学校	植木3207	介護老人保健施設 青風苑	上新入2490番地14
直方市立下境小学校	下境1820番地	株式会社 もち吉	下境2400番地
直方市立中泉小学校	中泉848番地3	株式会社 もち吉通信販売部	頓野2780番地1
千手歯科医院	古町11-9 デントビル2F	株式会社 もち吉製氷工場	溝掘1丁目2番38号
直方市消防本部	新町2丁目5-10	もちだんご村保育園	下境2586番地4
福岡ひびき信用金庫直方支店	古町11番7号	福岡県立 直方特別支援学校寄宿舎	上境2686番地1

### 直方市AED設置施設登録事業所

事業所の名称	所在地
福岡県立直方特別支援学校	下境410番地2

# 火 災 概 況

## 1 火災発生状況

平成30年中の火災発生件数は10件であり、前年に比べ2件減少している。

火災種別ごとの内訳は、建物火災9件、林野火災0件、車両火災1件、その他火災0件で、前年に比べ建物火災は2件増加、林野火災は1件減少、車両火災は1件減少、その他火災は2件減少となっている。

## 2 火災の損害状況

火災における建物の焼損床面積は168.2㎡、焼損表面積は21.3㎡あり、前年に比べ焼損床面積は31.9㎡の増加、焼損表面積は2.7㎡の減少となっている。

火災による損害額は8,881千円であり、前年の20,303千円に比べ11,422千円減少している。

罹災世帯及び罹災人員については、4世帯7人であり、前年に比べ世帯数は1世帯の減少、罹災人員は2人の増加となっている。

## 3 出火原因

出火原因は、電気配線が3件、放火（疑いも含む）及びその他が2件、コンロ、スパーク、ローソクがそれぞれ1件となっている。

本年は昨年と比べ火災件数は減少しているものの、電気配線や放火からの火災が発生している為、火災予防の呼びかけや電気設備の適切な使用方法等を再度確認し、市民一人一人の防火意識の向上及び予防行政の一層の強化が必要である。

## 4 死傷者数

死傷者数については、死者0名、負傷者1名で、死者は前年に比べ1名の減少、負傷者は1名の減少となっている。

## 火災概要（前年比）

（△印は減）

区分		年別	平成30年	平成29年	比較
火災件数（件）			10	12	△ 2
内 訳	建物		9	7	2
	林野		0	1	△ 1
	車両		1	2	△ 1
	その他		0	2	△ 2
総損害額（千円）			8,881	20,303	△ 11,422
内 訳	建物		8,041	18,006	△ 9,965
	林野		0	10	△ 10
	車両		840	2,237	△ 1,397
	その他		0	50	△ 50
建物焼損面積(m <sup>2</sup> )			168.2 (21.3)	136.3 (24.0)	31.9 (△2.7)
林野焼損面積(a)			0	15	△ 15
焼損棟数(棟)			11	7	4
罹災世帯数(世帯)			4	5	△ 1
罹災人員数(人)			7	5	2
死者数(人)			0	1	△ 1
負傷者数(人)			1	2	△ 1
直方市の人口(人)			56,773	57,149	△ 376
直方市の世帯数(世帯)			27,081	26,935	146
市民一人当り損害額(円)			156	355	△ 199
市民一世帯当り損害額(円)			328	754	△ 426
火災一件当り損害額(千円)			888	1,692	△ 804
一 日 平 均	火災発生件数(件)		0.03	0.03	0.00
	焼損棟数(棟)		0.03	0.02	0.01
	焼損面積(m <sup>2</sup> )		0.46	0.37	0.09
	罹災人員(人)		0.02	0.01	0.01
出火率(件/1万人)			1.8	2.1	△ 0.3

## 救急概況

平成30年中の救急出場件数は3,323件で、過去最高(平成29年 3,313件)を更新した。

これは、当管内で1日平均9.1件救急隊が出場したことになる。

事故種別の上位(割合)は、急病2,161件(65.0%)が最も多く半数以上を占め、次いで一般負傷498件(15.0%)、転院搬送426件(12.8%)の順となっている。

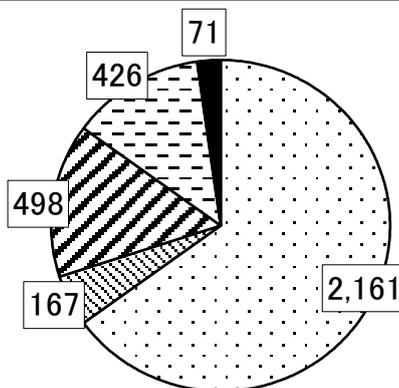
本市は、全国平均より高い水準で高齢化が進行していることもあり、管内人口は、減少傾向ながら平成23年以降、8年連続で3,000件を超え、高齢化及び生活習慣病を背景として今後も救急出場の増加が危惧される。

搬送人員は3,158人で、こちらは過去最高(平成29年 3,166人)から微減となりほぼ横ばいの状況で、市民の18人に1人が救急車を利用したことになる。(救急車利用率:全国平均では22人に1人 平成30年版消防白書調べ)

また、搬送人員のうち65歳以上の高齢者は、2,085人、66.0%であり、全国平均(58.8%)を上回っている。

これらの状況から、さらなる「救急車の適正利用」の取組みを強化する必要性がある。

□急病   ▨交通事故   ▩一般負傷   □転院搬送   ■その他



事故種別	出場件数	構成比(%)
急病	2,161	65.0
交通事故	167	5.0
一般負傷	498	15.0
転院搬送	426	12.8
その他	71	2.2
計	3,323	100.0

年間出場件数	3,323件
1日平均件数	9.10件
1日最多出場件数	21件(8/6)
年間搬送人員	3,158人
救急利用率	市民18人に1人
直方市人口(平成30年12月末現在)	56,773人

## 救急出場事故種別概要(前年比)

事故種別	平成29年中 出場件数	平成30年中 出場件数	増減	平成29年中 搬送人員	平成30年中 搬送人員	増減	
火災	3	2	△ 1	3	1	△ 2	
自然災害	0	0	0	0	0	0	
水難	1	3	2	1	0	△ 1	
交通事故	191	167	△ 24	201	176	△ 25	
労働災害	17	14	△ 3	17	16	△ 1	
運動競技	14	15	1	14	15	1	
一般負傷	491	498	7	464	471	7	
加害	6	11	5	6	11	5	
自損行為	21	20	△ 1	18	12	△ 6	
急病	2,107	2,161	54	1,983	2,027	44	
その他	転院搬送	458	426	△ 32	458	426	△ 32
	医師搬送	0	0	0	0	0	0
	資機材	1	0	△ 1	0	0	0
	その他	3	6	3	1	3	2
計	3,313	3,323	10	3,166	3,158	△ 8	

## 救 助 概 況

### 1 救助出動状況

平成30年中における出動件数は24件であり、前年に比べ2件減少の件数となっている。

事故種別は、交通4件（前年に比べ8件減少）、水難4件（前年に比べ4件増加）、建物2件（前年に比べ1件増加）、その他14件（前年に比べ1件増加）、となっている。

その他の内訳は、一般10件、山岳4件となっている。

救助人員は14人で、傷病程度は、死亡3人、重症1人、中等症4人、軽症2人、その他4であり、前年に比べ5人の減少となっている。

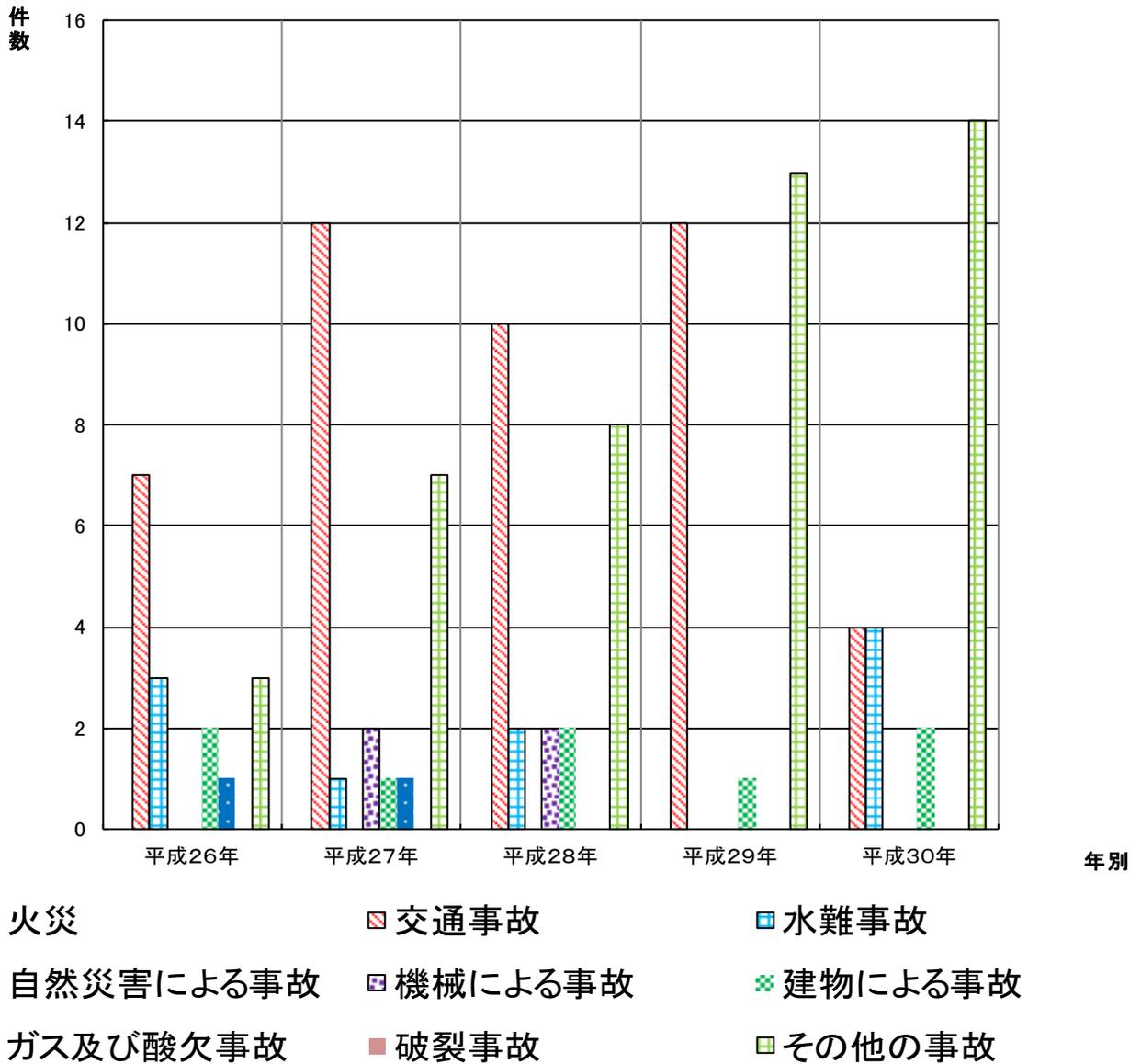
### 2 救助隊設置状況

救助隊数	救助隊員数		救助隊が使用する車両
救助隊1隊	1部	9人	救助工作車Ⅱ型(日野ADG-GX7JGWA)
	2部	9人	
			18人

### 3 救助活動状況

区分	事故種別	火災	交通	水難事故	自然災害	機械	建物	ガス及び酸欠	破裂	その他	計
		救助出場件数(件)	0	4	4	0	0	2	0	0	14
救助活動件数(件)	0	1	4	0	0	1	0	0	9	15	
救助人員	0	0	4	0	0	1	0	0	9	14	
出動人員	消防隊員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助隊員	0	15	21	0	0	4	0	0	50	90
	救急隊員	0	19	13	0	0	6	0	0	43	81
	指揮隊員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	34	34	0	0	10	0	0	93	171
出動車両	救助工作車	0	4	1	0	0	1	0	0	10	16
	救急車	0	6	4	0	0	2	0	0	14	26
	タンク車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の車両	0	0	7	0	0	1	0	0	5	13
	計	0	10	12	0	0	4	0	0	29	55

## 過去5年間の救助出動件数



事故種別 \ 年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
火災	0	0	0	0	0
交通事故	7	12	10	12	4
水難事故	3	1	2	0	4
自然災害による事故	0	0	0	0	0
機械による事故	0	2	2	0	0
建物による事故	2	1	2	1	2
ガス及び酸欠事故	1	1	0	0	0
破裂事故	0	0	0	0	0
その他の事故	3	7	8	13	14
計	16	24	24	26	24